

INTERNAL ATAPI (E-IDE) DVD \pm R/RW UNIT

ATAPI内蔵型 DVD \pm R/RWユニット

ユーザーズマニュアル

LDR-4242AK
LDR-4242AK(B)

Logitec

ごあいさつ

この度は弊社 DVD ± R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。本書は DVD ± R/RW ユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 DVD ± R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Pentium®・Celeron®は米国Intel社の登録商標です。B's STUDIO、B's Recorder GOLD、B's CLiP、B's ラク～だ!バックアップは株式会社ビー・エイチ・エーの商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

目次

設定編

ご使用の前に	4
取り扱い上の注意	4
使用上のご注意	7
付属品の確認	8
製品の特徴	9
使用可能なメディア	9
各部の名称と機能	11
使えるようになるまで	12
本製品の接続	12
接続の前に	12
接続の手順	14
接続結果の確認	15
ソフトウェアのインストール	16
ソフトウェアの概要	16
インストール方法	17
取り扱いについて	19
メディアのセットと取り出し	19
補足説明	21
トラブルシューティング	21
使用環境について	23
オプション品について	25

書き込み・再生編

B's STUDIO を使用する	26
B's STUDIO の起動	26
DVD ビデオの作成	28
DVD ビデオを再生する	36
パソコンのデータを書き込む	37
その他の機能について	41
補足：ムービーの編集について	42
B's ラク～だ！バックアップ を使用する	54
リカバリー DVD/CD の作成方法	55
リストアについて	66
ソフトウェアについて	70
B's STUDIO 内のソフトウェアについて	70
B's neoDVD / B's neoDIRECT	70
MovieShop	72
B's Recorder GOLD5 BASIC	73
B's Movie Player	75
B's ラク～だ！バックアップについて ..	76
B's CLiP について	78

付録

ソフトウェアのインストール方法が わからない場合	79
アンインストールについて	87
ハードウェア仕様	90
ソフトウェアに関する お問い合わせについて	92

設定編

ご使用の前に

取り扱い上の注意



必ずお読みください

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取り扱い上の注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。





警告

分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



水場で使用しないでください

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあたると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部をのぞいたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。

機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分(CPUなど)があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



ケガに注意



感電注意



高温注意

注意

静電対策をしてください。

本製品およびパソコン本体には、静電気に弱い部品が使用されています。静電気のためやすいカーペットの上などに置かないでください。

また、接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分にふれて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。接続時、不要部分には手を触れないでください。



その他の
強制事項

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。

また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。

(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

その他の
強制事項



メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書に従って正しい取扱いをして下さい。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

オーディオ CD を再生するときは

本製品を使用して、オーディオ CD を再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。

本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換/保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください。



その他の
注意事項

使用上のご注意

- ・市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD-R、DVD-RWメディア、DVD+R、DVD+RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオを再生可能なDVDプレーヤーに関する情報は、弊社ホームページ (<http://www.logitech.co.jp/>) をご参照ください。
- ・パケットライトソフトウェア「B's CLiP」でDVD+RWメディアに書き込まれたデータは、DVD+RWメディアへの書き込みに対応した製品以外のドライブでは読み出すことができません。これはDVD+RWメディアへの書き込み「Random Access Write方式」が使用されているためです。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。

設置の際は...

本製品およびケーブル類の接続端子部分には触れないでください。(故障の原因になります)
次ページの設置方向を参照して正しい方向で設置してください。

移動・輸送の際は...

本機を組み込んだパソコンを移動するときは、ディスクを取り出しトレイを閉じた後、必ずパソコンの電源をお切りください。

本機を組み込んだパソコンを移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。

ご使用の際は...

本機を組み込んだパソコンを動作中に動かさないでください。(故障の原因となります)

トレイを出したまま放置しないでください。(内部にホコリが入り、故障の原因となります)

トレイには本製品で使用可能なメディア以外はセットしないでください。(故障の原因となります)

8cmディスクを使用するときは市販の8cmアダプタは使用しないでください。

無理にトレイ部分を開けないでください。(故障の原因となります)

本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。(磁気の影響で、動作が不安定になることがあります)

本製品が結露した状態で使用しないでください。

(寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、結露し、誤動作・故障の原因となります)

近くにあるテレビやラジオに雑音が入る時は、2m以上離すかコンセントを別にしてみてください。

レンズやメディアのお手入れの際は...

長時間使用すると、本製品のレンズやメディア側にほこりが付着して、正常に読み書きできなくなる恐れがあります。使用環境や使用回数によって異なりますが市販のレンズクリーナーやディスククリーナーなどを用いて、約1年に一度お手入れをすることをお勧めします。

本機表面のお手入れの際は...

必ずパソコンの電源を切ってください。

汚れは柔らかな布で軽くふき取ってください。

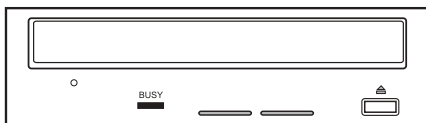
汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)を布に浸し、よく絞ってからふいてください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

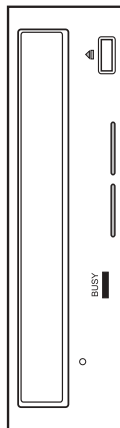
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わないでください。

設置方向について

本製品を5インチベイに内蔵する際には、本製品が以下のような方向になるように取り付けてください。逆方向に設置すると故障の原因となります。



水平方向の場合



垂直方向の場合

付属品の確認

ご使用前に以下の付属品が同梱されていることをご確認ください。

DVD±R/RWユニット	1台
取付ネジ	4本
ソフトウェア	
B's STUDIO (以下のソフトウェアを含む)	1式
B's Recorder GOLD5 BASIC for Windows	
B's neoDVD	
B's MoviePlayer	
MovieShop	
B's CLiP5 for Windows	1式
B'sラク～だ!バックアップ	1式
保証書/ユーザー登録カード	1枚
DVD±R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

添付のソフトウェアは全て1枚のCD-ROM「Software Pack」に収められています。
本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

製品の特徴

本製品はDVD+R/+RW、DVD-R/RW、CD-R/RWの書き込み・再生に対応した内蔵型DVD ± R/RWユニットです。本製品の主な特徴は以下の通りです。

本製品を使用してDVDビデオフォーマットで書き込んだDVD+R/RW、DVD-R/RWの各メディアは市販のDVDプレーヤでの再生が可能です。

本製品にはDVDビデオ作成のためのDVDオーサリングソフト、PCデータの保存のためのライティングソフト、DVDビデオ再生ソフトなどが添付されています。

従来のCD-ROMドライブとの互換性を持っています。データCD-ROMアクセス時には、最大32倍速のCD-ROMドライブとして使用することができます。もちろんCD-R/RWメディアの読み込みを可能で、マルチセッションにも対応しています。

追記書き込みに対応しているため、DVD+R、DVD-Rメディアの記録可能容量を最大限利用することができます。

ブラックカラーのフロントパネルを採用していますので、濃色系のボディカラーを採用したパソコンへの内蔵に最適です。

使用可能なメディア

DVDメディア

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
DVD-ROM single	4.7GB	-	最大 12 倍速
DVD-ROM dual	8.7GB	-	最大 6 倍速
DVD- Video	-	-	最大 2 倍速
DVD+R	4.7GB	4 倍速 / 2.4 倍速	最大 6 倍速
DVD+RW	4.7GB	2.4 倍速	最大 6 倍速
DVD-R for General Ver.2.0	4.7GB	4 倍速 / 2 倍速	最大 6 倍速
DVD-RW Ver.1.1	4.7GB	2 倍速 / 1 倍速	最大 6 倍速
DVD-R Ver.1.0	3.95GB	-	最大 6 倍速
DVD-R for Authoring Ver.2.0	4.7GB	-	最大 6 倍速

各メディアの特色は次ページをご参照ください。

DVD-R、DVD-RWメディアで最大6倍速の読み込み速度を実現するためには、高速記録対応メディアを使用する必要があります。未対応のメディアの場合、最大2倍速となります。

使用可能なメディア

特色

- DVD-R : 一度だけ書き込みが可能な DVD メディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- DVD-RW : 書き込みや書き換えが可能な DVD メディアです。
- DVD+R : 一度だけ書き込みが可能な DVD メディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- DVD+RW : 書き込みや書き換えが可能な DVD メディアです。
- DVD-ROM : 読み込み専用のメディアです。
- DVD-Video : 動画と音声デジタルで記録した読み込み専用メディアです。



ご注意

本製品では DVD-RAM メディアはご使用になれません。

CD メディア

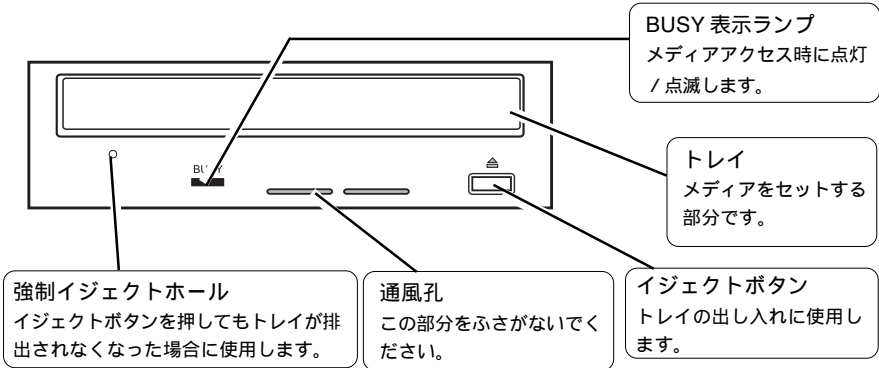
メディア名	書き込み速度	読み込み速度
CD-ROM	-	最大 32 倍速
CD-R	16 / 12 8 / 4 倍速	最大 32 倍速
CD-RW	10 / 4倍速	最大 32 倍速

特色

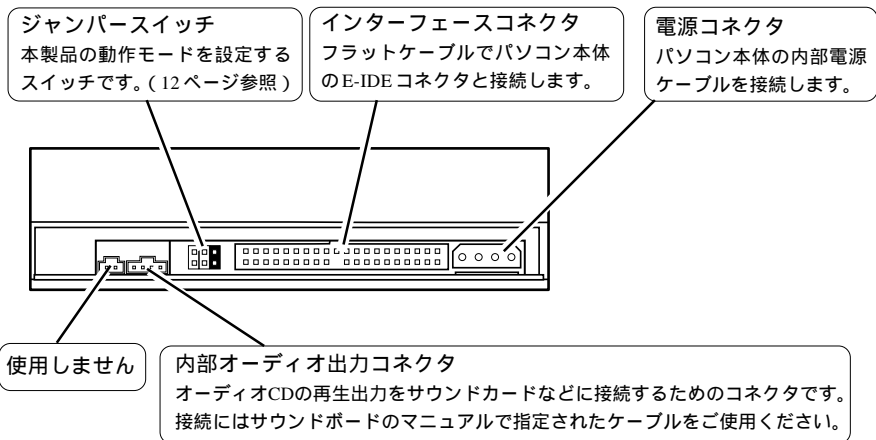
- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽 CD まで、幅広い用途で使用されています。
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 書き込み、書き換えが可能なメディアです。

各部の名称と機能

本製品前面



本製品背面



使えるようになるまで

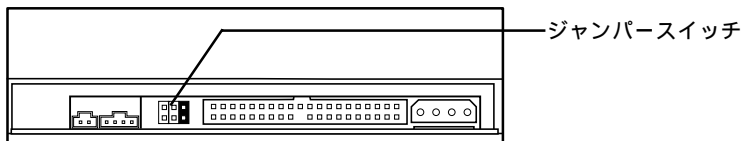
本製品の接続

接続の前に

ジャンパースイッチの設定

本製品を接続する前に、背面のジャンパースイッチで本製品の動作モード（マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト）を設定します。

動作モードの設定は下図のように背面のジャンパースイッチで行います。接続する環境にあわせてマスタ/スレーブ/ケーブルセレクトを選択してください。



本製品の場合、以下のようにジャンパープラグを配置することで「マスタ」「スレーブ」「ケーブルセレクト」の設定ができます。

	本製品のみを接続する場合、もしくは、2台接続でマスタとして使用する場合（出荷時設定）
	2台接続でスレーブとして使用する場合
	ケーブルセレクトで使用する場合（参考）

= ジャンパープラグをセットする位置

⚠️ ご注意

「ケーブルセレクト」は専用ケーブルを使用することによって、動作モードを自動設定する規格です。

「ケーブルセレクト」はパソコン本体がこの規格に対応していないと使用できません。そのため、パソコン本体のマニュアルで「ATAPI (E-IDE) 機器をケーブルセレクトに設定する」と指定されている場合のみ、この設定にしてください。

この設定を行った場合、専用ケーブルを別途用意する必要があります。

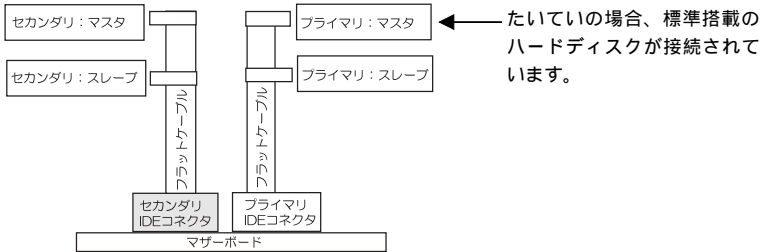


ジャンパースイッチの設定が分からない場合は...

一般のパソコンではマザーボードにプライマリとセカンダリの2つのATAPI(E-IDE)コネクタがあります。

それぞれのATAPI(E-IDE)コネクタには各2台のATAPI対応機器を接続できますが、どちらのコネクタに接続する場合でも、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければなりません。

この設定を行うのがジャンパースイッチです。下の図とご使用のパソコンを見比べて、本製品を「マスタ」に接続するのか、「スレーブ」に接続するのかを確認してください。



ジャンパースイッチの設定では接続先がプライマリであるか、セカンダリであるかは関係ありません。

接続の手順

ジャンパースイッチの設定が終わったら本製品をパソコンに接続します。



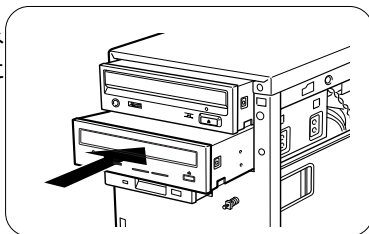
重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

接続例

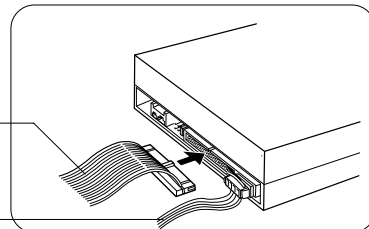
ここでご紹介するのは、あくまでも一例です。パソコンの種類によっては特殊な金具を必要とするものなどもありますので、接続に際してはご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

パソコンのサイドカバー、フロントパネル等を取り外し本製品を5インチベイに挿入します。



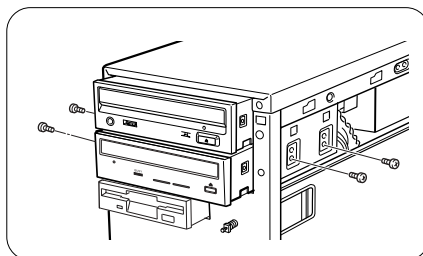
右図のようにコネクタ類の接続をします。その際、方向を確認してしっかりと接続してください。

フラットケーブルをインターフェイスコネクタに接続



内部電源ケーブルを電源コネクタに接続

本製品を完全に挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横から止めます。接続が終了したら、パソコンのカバー等を取付けてください。



Point ポイント

- ・サウンドボードをお持ちの場合は、コネクタ類の接続時に、必要に応じて本製品の内部オーディオ出力コネクタとサウンドボードの入力コネクタを接続してください。この接続を行うとオーディオCDをサウンドボード経由で再生することができます。
接続にはサウンドボードのマニュアルで指定されたケーブルをご使用ください。(接続の詳細についてはサウンドボードのマニュアルをご参照ください。)
- ・フラットケーブルを接続する際に、プライマリのフラットケーブルに余っているコネクタがない場合や、セカンダリ IDE コネクタにフラットケーブルが付属していない場合には、別売りのフラットケーブルをご使用ください。
別売りフラットケーブルについては「オプション品について」(25ページ)をご参照ください。

接続結果の確認

接続が終了したら以下の手順で、本製品が正しく認識されているかを確認してください。

パソコンの電源を ON にして Windows のシステムを起動します。
システム起動後、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。
以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。
次に本製品を使用してDVDへの書き込み再生を行うためのソフトウェアのインストールを行います。「ソフトウェアのインストール」(16ページ)へお進みください。



Windows XP で表示
されるアイコン



Windows Me, 98, 2000 で表示
されるアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、「トラブルシューティング」(21ページ)に従ってチェックを行ってください。

ソフトウェアのインストール

接続後、本製品はDVD-ROMドライブ（リーダー）として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、CD-R、CD-RW メディアへの書き込みや、DVD ビデオの再生はできません。DVD ± R/RW ユニットはソフトウェアを使用してデータの書き込みやDVD ビデオの再生を行うためです。

ここでは、本製品に付属しているソフトウェアの概要とインストール方法についてご説明します。

ソフトウェアの概要

B's STUDIO（DVDトータルソリューション）

DVDメディアの書き込みから再生までに必要なソフトウェアをパッケージにして使いやすいようにアレンジされたDVDトータルソリューションソフトウェアです。

B's STUDIOに含まれるソフトウェアについては、「書き込み・再生編」をご参照ください。



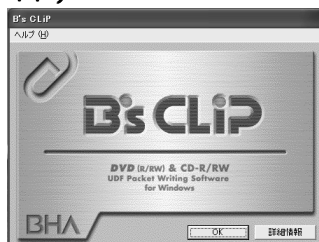
B's ラク～だ！バックアップ（バックアップソフトウェア）

Windows のシステムがインストールされているドライブをまるごとバックアップできます。システムが安定して動作している状態でリカバリーDVD/CDを作成することができます。また、ファイルやフォルダ単位でのバックアップも可能です。



B's CLiP（DVD ± RW、CD-RW パケットライト）

書き込みのために、アプリケーションを起動する必要がなく、ドラッグアンドドロップで簡単に書き込みを行うことができます。



インストール方法

ソフトウェアインストールの前に本書2ページの「ソフトウェア使用権許諾契約書」をお読みください。許諾内容に合意される場合のみ、付属の各ソフトウェアをご利用いただけます。なお、インストールされた場合は許諾内容に合意されたものとさせていただきます。

インストールに必要なもの

「Software Pack」CD-ROM

インストールの際のご注意

Windows XP、2000をご使用の場合は、管理者権限のあるユーザー（たとえば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等）としてコンピュータにログオンしてください。

1. 付属の「Software Pack」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 自動的にセットアップランチャーが表示されます。インストールするソフトウェアの左側にあるボタンをクリックします。

インストールするソフトウェア
のボタンをクリック



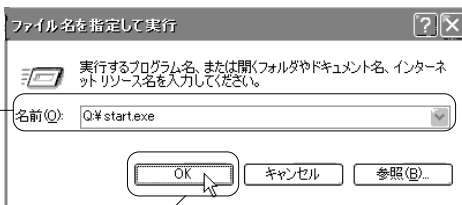
3. クリックすると各ソフトウェアの画面に切り替わります。その画面で「インストール」ボタンをクリックするとインストーラが起動します。その後はウィザードに従ってインストールを進めてください。

ソフトウェアのインストールが終了したら、本製品を使用して DVD メディアの書き込み・再生が可能となります。DVD メディアの書き込み・再生方法については「書き込み・再生編」(26 ページ以降)をご参照ください。

Point ポイント

セットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
ここで入力する「Q:」はCD-ROM がセットされている CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。

1. 「Q:¥start.exe」と入力して、



2. 「OK」ボタンをクリック

Point ポイント

B's ラク～だ！バックアップをインストールする際は、製品のシリアル番号を入力する画面がインストール中に表示されます。その場合はB'sラク～だ！バックアップのシリアル番号を半角文字で入力してください。シリアル番号は本書巻末をご参照ください。（本製品のシリアル番号ではインストールできません）
インストール手順がわからない場合は、「付録」の「ソフトウェアのインストール方法がわからない場合」（79 ページ）をご参照ください。

参考

ソフトウェアのインストール完了時に、コンピュータを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。
その場合、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、そのまま次のソフトウェアのインストールを行うことができます。
一度に全てのソフトウェアをインストールする場合は、一番最後のソフトウェアインストール後にコンピュータを再起動すれば、それまでにインストールした全てのソフトウェアが有効になります。

取り扱いについて

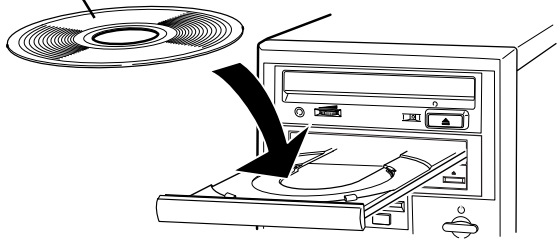
メディアのセットと取り出し

本製品にメディアをセットするときは、パソコン本体の電源が入った状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、マイコンピュータ上で本製品のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「取り出し」を実行してください。

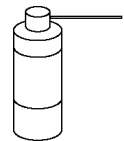
タイトル面を上に出します。



！ ご注意

- ・メディアをセットしたまま本製品を内蔵したパソコンを移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、パソコンの電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。

- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。



ダストクリーナ

- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

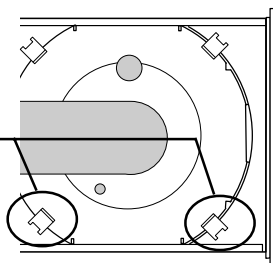
- ・DVDメディアにはラベルやシールを貼らないでください。

- ・トレイの挿入、排出動作中は、絶対パソコン本体の電源を切らないでください。

縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ



縦方向で設置した場合、8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。

メディアが取り出せなくなった場合

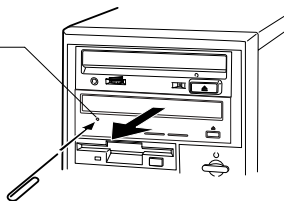
何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまう場合は、まず本製品のBUSY表示ランプが点灯していないかをチェックしてください。点灯していない場合には、一度システムを終了して、パソコン本体の電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制排出することができます。これを行なうときには、必ずパソコン本体の電源をOFFにしてください。

大き目のクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押し込んでください。

トレイが2～3cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

強制イジェクトホール



ご注意

- ・パソコン本体の電源がONになっている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。
- ・Windows環境では、セットしてメディア内のファイルが開いている状態ではトレイを排出することができません。

補足説明

トラブルシューティング

本製品を接続するとシステムが起動しない。

- ・本製品背面のジャンパースイッチで動作モード(マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト)が正しく設定されているかどうかを確認してください。

本製品がDVD-ROMドライブとして認識されない。

- ・フラットケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・内部電源ケーブルの接続に問題がないかどうか確認してください。
- ・「デバイスマネージャ」を起動して、「ハードディスクコントローラ」に「！」マークなどがついていないかどうかを確認してください。「デバイスマネージャ」を起動するには、Windows Me, 98 Second Edition の場合、「コントロールパネル」「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP, 2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

- ・本製品または同時に使用している機器がケーブルセレクト設定の場合は、マスタ/スレーブの設定にして試してみてください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・本製品背面のジャンパースイッチで動作モード(マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト)が正しく設定されているかどうかを確認してください。
- ・ライティング・ソフトウェアは最新版ものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

- ・「メディアのセットと取り出し」(19 ページ)をご参照ください。

特定のDVD-ROM / CD-ROM にアクセスできない

- ・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？ Windows環境の場合、Macintosh用のCD-ROMはアクセスできません。
- ・そのメディアは「2」または「ALL」以外のリージョンコードを持つDVDビデオではありませんか？ そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生することはできません。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、この後の「使用環境について」(23 ページ)をご参照ください。

セットしたメディアが認識されない。

- ・裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？
- ・そのメディアは本製品でサポートしているものかどうかを確認してください。本製品で使用可能なメディアについては「使用可能なメディア」(9ページ)をご参照ください。

BUSY 表示ランプがオレンジ色に点滅し、読み込みも書き込みもできない。

- ・内部温度が異常に高くなるとこのような症状が発生します。通風孔や背面の冷却ファンをふさいだり、熱源となるものに直接触れるような形で使用していませんか？
- ・メディアが汚れているときにもこのような症状が発生します。メディアとトレイの清掃を行ってみてください。
- ・上記2項目に該当しない場合は、一度システムを終了して、パソコン本体の電源を入れなおしてみてください。それでも症状が改善されない場合は、修理をご依頼ください。

サスペンドモードから復帰できない。

- ・本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

パソコン上でDVDビデオが再生できない。

- ・DVDビデオ再生用のソフトウェアは正しくインストールされていますか？DVDビデオは別途ソフトウェアをインストールしなければ再生できません。
- ・リージョンコード「2」または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしていませんか？これは日本以外の国を対象としたDVDビデオですので、本製品では再生できません。
- ・リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

本製品で作成したDVDビデオが市販のDVDプレーヤーで再生できない。

- ・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオを再生可能なDVDプレーヤーの情報については、弊社ホームページをご参照ください。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアの提供元である株式会社ビー・エイチ・イーではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社 ビー・エイチ・イー

ホームページアドレス：<http://www.bha.co.jp>

使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

5インチベイとATAPI(E-IDE)インターフェースを持っていること。

Celeron 300MHz以上のCPUを搭載していること。
(DVDビデオ作成・再生時はPentium 700MHz以上、B's neoDVDを使用してリアルタイム記録を行う場合は1.1GHz以上のCPUが必要です)

128MB以上のメモリを搭載していること。

ハードディスクに5GB以上の空き容量があること(20GB以上を推奨)(CD-R, CD-RWへの書き込みを行う場合は800MB以上)

できるだけ高速なCPU/大容量メモリ/大容量HDドライブを搭載した環境での使用を推奨します。

対応 OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me

Windows 98 SecondEdition (*1)

Windows 2000 Professional

*1 Second Edition でない Windows 98 は対象外となります。



ご注意

すべての機種で動作確認するのは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることはご承知おきください。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアおよび弊社ホームページで紹介しているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< DVD-R メディア >

パイオニア(株) 三菱化学(株) 太陽誘電(株)
富士写真フィルム

DVD-Rメディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD-Rメディアが必要です。

< DVD-RW メディア >

パイオニア(株) 三菱化学(株) 日本ビクター(株)
TDK (株)

DVD-RWメディアへの2倍速書き込みには、高速記録対応DVD-RWメディアが必要です。

< DVD+R メディア >

太陽誘電(株) (株)リコー 三菱化学(株)

DVD+Rメディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD+Rメディアが必要です。

< DVD+RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

< CD-R メディア >

太陽誘電(株)「That's シリーズ」(株)リコー TDK (株)
三井化学(株) 三菱化学(株) 日立マクセル(株) 富士写真フィルム

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。ただし Ultra Speed CD-RW メディアには未対応です。

DVD メディアにはラベルやシール等を貼付しないでください。

オプション品について

本製品に接続可能な内部フラットケーブルは以下の型番で弊社より発売されています。

型番	形状	長さ
CB-F 40/66	ピンヘッダータイプ 40 ピン × 3	0.4 m

UltraATA/66 対応 80 芯ケーブル使用

型番	形状	長さ
CB-F 40	ピンヘッダータイプ 40 ピン × 3	0.4 m

UltraATA/66 以上の高速転送環境には使用できません。

書き込み・再生編

B's STUDIO を使用する

本製品付属の「B's STUDIO」は、DVD への書き込み、DVD ビデオの再生を行うためのトータルソリューションソフトウェアです。ここでは、「B's STUDIO」の起動と目的に応じた各ソフトウェアの使用法の概要をご説明いたします。

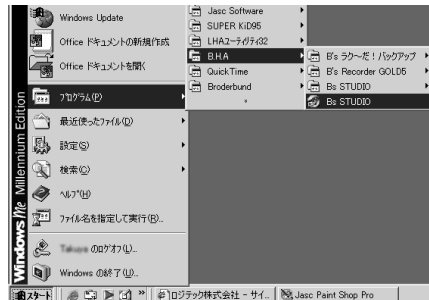
なお、各ソフトウェアの具体的な操作方法についてはそれぞれのソフトウェアのヘルプファイルまたはユーザーズマニュアル（PDF 形式）をご参照ください。また、この後の「ソフトウェアについて」（70 ページ）では各ソフトウェアの特徴についてご説明させていただいておりますので、そちらもあわせてご参照ください。

B's STUDIO の起動

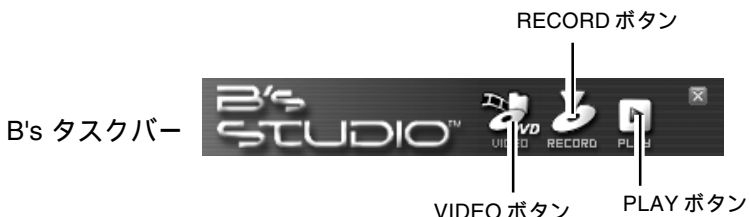
B's STUDIO はインストール時に自動作成される「B's STUDIO」のショートカットのアイコンをダブルクリックすると起動します。



また、「スタート」ボタンから「プログラム」 - 「B.H.A」 - 「B's STUDIO」と選択しても起動することができます。



プログラムが起動すると、デスクトップに以下の B's タスクバーが表示されます。



B's STUDIO 起動後の操作について

B's タスクバーのそれぞれのボタンからは、以下のような機能を実行することができます。

VIDEO ボタン

このボタンを選択すると、メニューが展開され、以下のサブメニューが選択可能になります。

- 「ビデオキャプチャー」
- 「ビデオ編集」
- 「DVD 又は VCD を作成」
- 「ビデオを直接ディスクに書き込む」
- 「自作の DVD 又は VCD をコピーする」

「ビデオキャプチャー」を選択すると、DVD オーサリングライティングソフトウェア「B's neoDVD」がキャプチャモードで起動します。DV カメラからの映像をキャプチャし、動画ファイルとして保存する場合に使用します。

「ビデオ編集」を選択すると、動画編集ソフトウェア「MovieShop」が起動します。キャプチャした動画ファイルを編集する場合に使用します。

「DVD 又は VCD を作成」を選択すると、「B's neoDVD」が作成モードで起動します。動画映像をキャプチャし、プロジェクトとして編集・書き込みまでを行う場合に使用します。

「ビデオを直接ディスクに書き込む」を選択すると、DV カメラ等のキャプチャデバイスから直接メディアへ書き込みが行えるソフトウェア「B's neo DIRECT」が起動します。

「自作の DVD または VCD をコピーする」を選択すると、「B's neo DVD」がコピーモードで起動します。

RECORD ボタン

このボタンを選択すると、「Audio CD 又は DataCD の作成」のサブメニューが表示されます。このメニューをクリックすると、データ DVD/CD・音楽 CD やビデオ CD 作成、コピー、リッピング機能を持つソフトウェア「B's Recorder GOLD5」が起動します。パソコンのデータを DVD や CD にバックアップする場合や、音楽 CD を作成する場合に使用します。

PLAY ボタン

このボタンを選択すると「DVD ビデオを再生する」のサブメニューが表示されます。このメニューをクリックすると、「B's MoviePlayer」が起動します。市販の DVD ビデオをパソコン上で再生する場合や、「B's STUDIO」で作成したオリジナルの DVD ビデオを再生する際に使用することができます。

DVD ビデオの作成

ここでは、付属のソフトウェアを使用して、DV カメラの動画をキャプチャし、DVD ビデオを作成する例をご紹介します。

ここでご紹介する手順はあくまでも一例です。それ以外の方法で書き込みを行いたい場合は、それぞれのソフトウェア付属のヘルプファイル等をご参照ください。

準備

DV カメラの電源を入れ、パソコンに接続しておきます。

書き込み手順

1

B's STUDIO を起動し、B's タスクバーがデスクトップに表示されたら、「VIDEO」ボタンをクリックし、展開されるサブメニューから「DVD 又は VCD を作成」を選択してください。

1 「.VIDEO」ボタンをクリック

2. 「DVD 又は VCD を作成」をクリック



2

プロジェクトウィンドウが開きます。「新規キャプチャ」ボタンをクリックしてください。

クリック



Point ポイント

「新規ファイル」ボタンをクリックすると、保存済みのムービーファイルをプロジェクトに追加することができます。MovieShop で編集したファイルを AVI 形式で保存した場合、ここで追加します。「新規スライドショー」ボタンからは、複数の静止画ファイルを 1 つのクリップとして登録することができます。

3

プロジェクトウィンドウ中央にサムネイルが登録されます。サムネイルの下の「名前なし」の部分をクリックしてサムネイルに名前を付けます。

このあたりをクリックして名前を入力



画面右側から設定可能な項目は以下の通りです。

- ・メニュー背景
 - ：メニューの背景を選択できます。
- ・フレーム
 - ：サムネイルの縁につけるフレームを選択します。
- ・メニューレイアウト
 - ：複数のサムネイルを登録したときのレイアウトを指定できます。
- ・タイトル/チャプタタイトル
 - ：プロジェクトの名前に使用する文字のフォント・色の指定ができます。
- ・ディスクフォーマット
 - ：書き込みフォーマットを選択することができます。DVD+RWメディアにプロジェクトを書き込む場合は「DVD+VR」を選択します。DVD-RW, DVD-R, DVD+Rメディアを使用する場合は「DVD-Video」を選択します。フォーマットは書き込みを行う際にも指定できるので、ここで指定しなくても問題はありません。

4

サムネイルを選択し、「編集」ボタンをクリックします。

1. クリック



2. クリック

5

「編集」ウィンドウに切り替わります。再生・巻き戻し・早送りボタンを使用してDVカメラの映像を、キャプチャを始める場面で停止しておき、「ディスク作成」ボタンを押してください。

1. このボタンを使ってキャプチャを始める場面を決めておきます。



2. クリック

6

「ディスク書き込み」ウィンドウが表示されます。ここでは、いったんハードディスクにイメージを書き込みます。設定が以下の様になっていることを確認して「OK」ボタンをクリックしてください。

ディスクフォーマット : DVD+VR
画質 : 高
表示フォーマット : NTSC
出力先 : ハードディスク

1. 確認



2. クリック

ご使用のメディアがDVD+RWの場合は、ここで出力先に本製品を指定して直接メディアへ書き込みを行い、書き込み後に再編集することも可能です。

7

キャプチャが始まります。キャプチャ中は、B's neoDVD 側のプレビューウィンドウではコマ落ちして表示されますので、DV カメラ側で映像を確認し、終了したいポイントで「終了」ボタンをクリックします。



終了したいところで「終了」ボタンをクリック

キャプチャが始まる前に以下のメッセージが表示された場合、ハードディスクに最低5GB以上の空き容量があることを確認し、「はい」ボタンをクリックしてください。この後に表示されるメッセージも同様に「はい」を選択します。



8

書き込みが行われ、終了すると右のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



クリック

9

メインメニューに戻ります。複数の映像を追加したい場合は手順 ~ の作業を繰り返します。

ヒント!

作成した各ムービークリップに高度な効果を加えたい場合は、「編集」ボタンをクリックし、さらに編集画面から「追加編集」ボタンをクリックします。編集用ソフトウェア「MovieShop」が起動し、選択したクリップを編集することができます。ただし、B's neoDVDのプロジェクト内にあるクリップはそのままでは「MovieShop」では開けないので、ソフトウェア側でデータを変換します。この変換にはある程度の時間がかかります。

10

映像を追加したら、本製品に DVD+R , DVD+RW, DVD-R , DVD-RW のいずれかのメディアをセットして、「ディスク作成」ボタンをクリックしてください。



クリック

11

ディスク書き込みウィンドウが表示されます。書き込みの設定は DVD+RW メディアを使用する場合と、DVD-R/RW、DVD+R メディアを使用する場合で異なります。メディアごとに手順を説明いたしますので該当する部分をご参照ください。

11-1

DVD+RW メディアを使用する場合

DVD+RW メディアを使用している場合は、以下のように設定します。

- ディスクフォーマット : DVD+VR
- 表示フォーマット : NTSC
- 出力先 : H: PIONEER DVD-RW DVR-106D (注)
- ディスクラベル : 任意の名前を半角英数字で入力してください。
- コピー : 複数のディスクにコピーする場合に入力してください。
- クイックイジェクト : チェックしてください。

これ以外の部分は何もせずに「OK」ボタンをクリックします。

1. 必要な設定を行ってください



2. 設定確認後、「OK」ボタンをクリック

11-2

DVD-RW、DVD-R、DVD+Rメディアへ書き込む場合

DVD-R、DVD-RW、DVD+Rメディアを使用している場合は「ディスク書き込みウィンドウで」以下のように設定します。

ディスクフォーマット : DVD-Video
 表示フォーマット : NTSC
 出力先 : H: PIONEER DVD-RW DVR-106D (注)
 ディスクラベル : 任意の名前を半角英数字で入力してください。
 コピー : 複数のディスクにコピーする場合は入力してください。

これ以外の部分は何もせずに「OK」ボタンをクリックします。

1. 必要な設定を行ってください

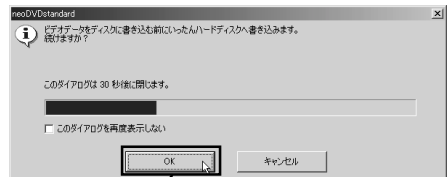


2. 設定確認後、「OK」ボタンをクリック

(注) 出力先は本製品の型番となります。また、H:の部分はドライブ名となりますので、環境により異なります。

12

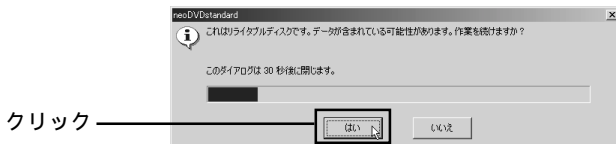
以下の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



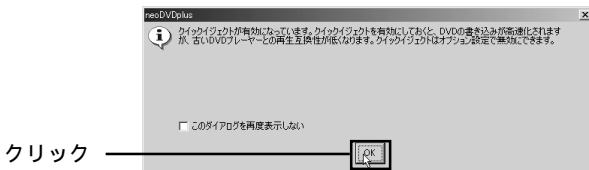
クリック

13

DVD+RW、DVD-RW メディアの場合は以下のメッセージが表示されます。セットされているメディア内にデータがある場合、データが消去されても構わないことを確認して、「はい」ボタンをクリックしてください。



DVD+RW メディアを使用している場合、以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



14

以下のメッセージが表示された場合、ご使用のハードディスクドライブに、本製品を使用する上で必要な空き容量が確保されているかどうかを確認し、確保されている場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

本製品を使用して DVD メディアへ書き込みを行うためにはハードディスクに最低 5GB 以上（20GB 以上を推奨）の空き容量が必要です。もし空き容量が足りない場合は、いったん書き込みを中止して、ハードディスクに空き容量を確保してください。



15

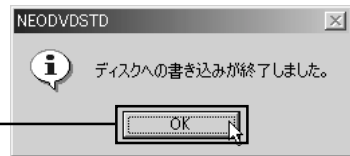
書き込みが行われます。書き込み中は、右の画面が表示され、画面下部のパラメータに進行状況が表示されます。この作業には多少時間がかかります。



16

正常に書き込みが終了すると右の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

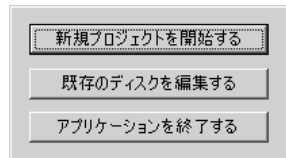
クリック



以上でDVDビデオの作成は終了です。作成したDVDビデオは「B's MoviePlayer」でパソコン上から再生が可能です。

Point

DVD+RWメディアへDVD+VRフォーマットで書き込みを行った場合、書き込み終了後、右の画面が表示されます。書き込んだメディアをすぐに再編集する場合は「既存のディスクを編集する」ボタンをクリックします。アプリケーションを終了する場合は「アプリケーションを終了する」ボタンをクリックしてください。



参考：再編集について

DVD+RWメディアへDVD+VRフォーマットで書き込みを行った場合、メディア上のデータを直接編集することができます。これに対してDVD-RWメディアへDVD-Videoフォーマットで書き込みを行った場合、メディア上のデータを直接編集できないので、いったんハードディスク上にデータをインポートしてから編集し、書き戻すことになります。

DVD ビデオを再生する

B's STUDIOでDVDビデオの再生を行う場合は、以下の手順をご参照ください。

1

B's タスクバーを起動し、「PLAY」ボタンをクリックしてください。「DVDビデオを再生する」のサブメニューが表示されたら、これをクリックしてください。

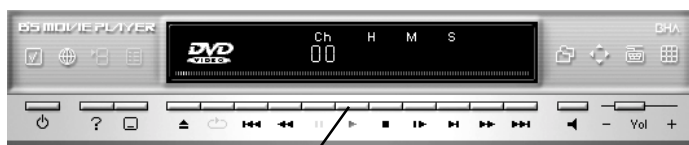
1 「PLAY」ボタンをクリック

2. 「DVDビデオを再生する」
をクリック



2

「B's MoviePlayer」が起動します。本製品に再生を行うメディアをセットしてください。ここで中央の「再生」ボタンをクリックすると、自動的にドライブを検索し、DVDビデオのメイン画面が起動します。



このボタンをクリック

「B's MoviePlayer」を終了する場合は、左側の電源ボタンをクリックします。



このボタンをクリック

パソコンのデータを書き込む

B's STUDIOでパソコンのデータの書き込みを行う場合は、以下の手順をご参照ください。

1

あらかじめ本製品にメディアをセットして、B's タスクバーを起動し、「RECORD」ボタンをクリックしてください。「Audio CD 又は DataCD の作成」のサブメニューが表示されたら、これをクリックしてください。

1 「RECORD」ボタンをクリック

2. 「Audio CD 又は DataCD
の作成」をクリック

**2**

B's Recorder GOLD5 が起動し、手前に補助メニューが表示されますので、「環境設定」ボタンをクリックしてください。

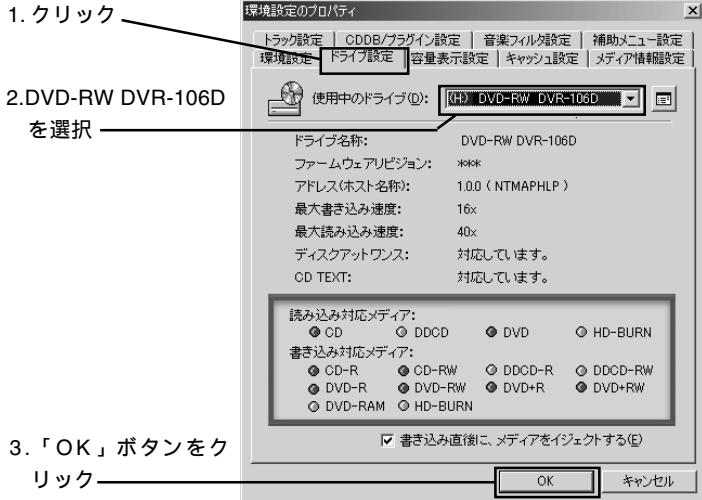


このボタンをクリック

3

「環境設定のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

ここで、「ドライブ設定」タブを選択し、「使用中のドライブ」に本製品の型番 (DVD-RW DVR-106D) を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



4

補助メニューに戻ります。「データ」ボタンをクリックしてください。

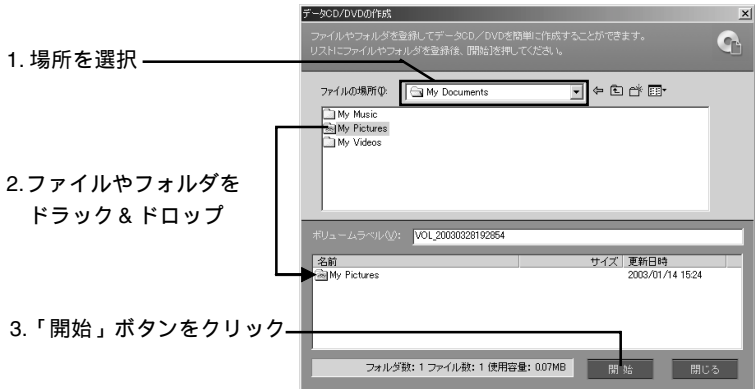
「データ」ボタンを
クリック



5

「データ CD/DVD の作成」ウィンドウが表示されます。

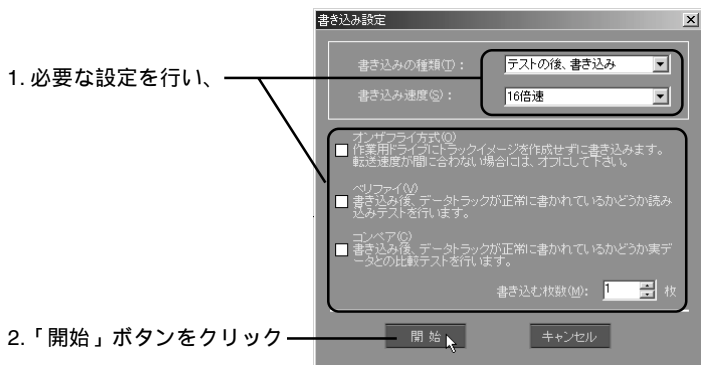
「ファイルの場所」で書き込みを行いたいデータがある場所を選択し、表示される一覧からファイルまたはフォルダを選択し、下のリストにドラック & ドロップして、開始ボタンをクリックしてください。



リストには複数のファイル・フォルダを別々の場所から登録することができます。

6

以下のウィンドウが表示されます。ウィンドウ内の説明を参照して、必要な設定を行い、「開始」ボタンをクリックしてください。



上の画面が表示されず、セットしたメディアがマウントされないで排出されてしまう場合は、メディアに不良があるか、本製品が対応していない可能性があります。本製品の対応メディアについては9ページ「使用可能なメディア」をご参照ください。

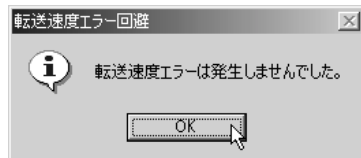
7

書き込みが始まります。書き込み中は以下のウィンドウに進行状況が表示されます。



8

正常に書き込みが終了すると、以下のウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



9

以上で書き込みは終了です。各ウィンドウを閉じてソフトウェアを終了してください。書き込みを行ったメディアは通常のDVD-ROM、CD-ROMと同じように使用できます。

その他の機能について

「DVカメラから直接DVD+R、±RWメディアへ書き込み」機能

B's STUDIO を起動し、B's タスクバーがデスクトップに表示されたら、「VIDEO」ボタンをクリックし、展開されるサブメニューから「ビデオを直接ディスクに書き込む」を選択してください。DVDダイレクトライティングソフトウェア「B's neoDIRECT」が起動します。入力デバイス、フォーマット、出力先などの設定を行った後に、「ディスク作成」ボタンをクリックするだけでDVカメラの映像を直接メディアへ書き込むことができます。詳しい使用方法についてはB's neo DIRECT のチュートリアルをご参照ください。

「自作のDVDまたはVCDをコピーする」機能

B's STUDIO を起動し、B's タスクバーがデスクトップに表示されたら、「VIDEO」ボタンをクリックし、展開されるサブメニューから「自作のDVDまたはVCDをコピーする」を選択してください。「B's neo DVD」がコピーモードで起動します。コピーモードでは、既に作成済みのDVD/VCDメディアのコピーが簡単に行えます。詳しい使用方法についてはB's neo DVDのヘルプまたはチュートリアルをご参照ください。

「音楽CD、ビデオCDの作成、DVD/CDのコピー」機能

B's STUDIO を起動し、B's タスクバーがデスクトップに表示されたら、「RECORD」ボタンをクリックしてください。展開されるサブメニューから「Audio CD又はDataCDの作成」を選択します。

「B's Recorder GOLD5」を使用すると音楽CD、ビデオCDの作成、DVD/CDのコピー等を行うことができます。これらの機能は全て補助メニューから簡単に行えるように設計されています。操作方法についてはB's Recorder GOLD5のユーザーズマニュアルを開き、マニュアル内の「CD/DVDのコピー手順」「データCD/DVD作成の手順」「音楽CD作成の手順」をそれぞれご参照ください。ユーザーズマニュアルは「スタート」「プログラム」「B's Recorder GOLD5」「ユーザーズマニュアル」と選択して参照することができます。

各ソフトウェアのユーザーズマニュアル内では基本的な操作方法のほかに、高度な設定を行って書き込みを行う方法についても説明していますので、そちらもご参照ください。

補足：ムービーの編集について

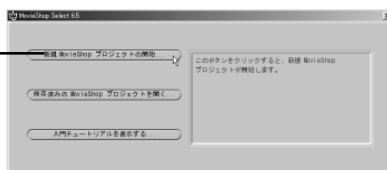
ここでは、「MovieShop」を使用して動画ファイルを編集する方法について、サンプルファイルを使用した編集例を元にご説明します。

より詳しい操作方法については、「MovieShop」のヘルプまたはチュートリアルをご参照ください。

1

はじめに「B's タスクバー」を起動して、「VIDEO」ボタンをクリックし、表示されるサブメニューから「ビデオ編集」を選択します。以下の画面が表示されたら「新規 MovieShop プロジェクトの開始」を選択します。

この項目を選択



参考

「B's neoDVD」から「MovieShop」へファイルを送った場合、直接「MovieShop」のプロジェクトウィンドウが開きます。

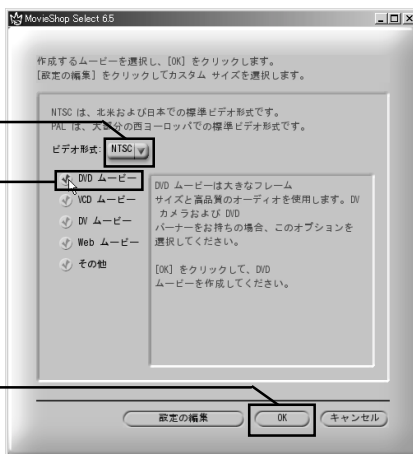
2

以下の画面が表示されるのでビデオ形式を「NTSC」とし、「DVD ムービー」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「NTSC」を選択

2. 「DVD ムービー」を選択

3. 「OK」ボタンをクリック

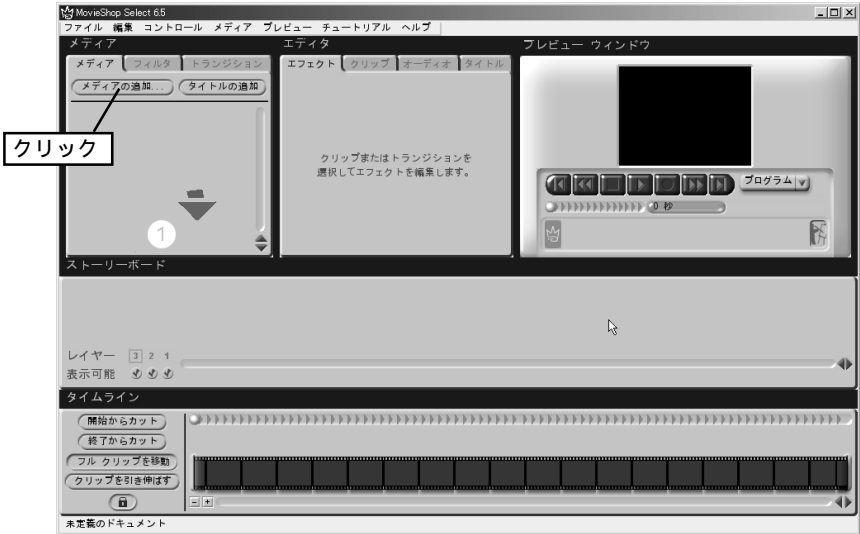


参考

ここでは、ムービーの選択をDVDムービーとしています。用途目的に応じてそれ以外のムービー形式を選択することも可能です。

3

プロジェクトウィンドウが開きます。メディア領域内にある「メディア」タブの「メディアの追加」ボタンをクリックしてください。



プロジェクトウィンドウは、次の5つの領域に分かれています。

メディア領域

はじめにこの「メディア」タブに、メディアやタイトルを登録します。

ストーリー・ボード領域

メディアタブに登録されたメディアやタイトルをここにドラッグ&ドロップします。レイヤーを選択できるので、映像と音声を別々のレイヤーに登録して、重ね合わせることもできます。

タイムライン領域

ストーリーボードに登録されているメディアやタイトルの表示時間がタイムラインで表示されます。不要な部分をカットする場合に使用します。

エディタ領域

選択されているメディアを表示可能領域でどのように表示するかや、各クリップのインポイント・アウトポイントの設定、音量の調整、タイトルの編集などを行います。

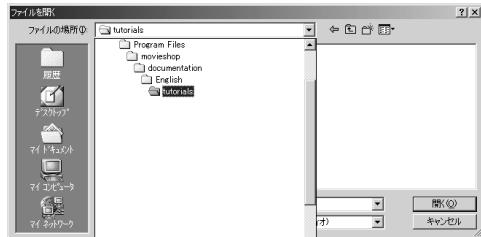
プレビューウィンドウ

「プログラム」モードが選択されている状態では、現在の編集状態を表示します。DVカメラを接続して「キャプチャ」モードを選択すれば、ここでキャプチャを行うこともできます。「ソース」モードでは、ストーリーボードで選択したクリップの編集前の状態を再生することができます。編集時にどの部分をカットしたかなどを確認できます。

4

ファイルを選択するダイアログが表示されますので、Movishop がインストールされているディレクトリの Documentation¥English¥Tutorials へ移動します。

通常は OS がインストールされているドライブ内の Program Files 内に movishop のフォルダが作成され、その下に Documentation¥English ¥Tutorials とフォルダが構成されています。(下図参照)



5

フォルダ内にある Swingset.mov ファイルと Fanfare.wav ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。

1. この2つのファイル
を選択



2. 「開く」ボタンをクリック

6

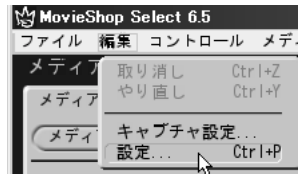
「メディア」タブの「タイトルの追加」ボタンをクリックします。これで「メディア」タブには右の3つのクリップが登録されました。

クリック



7

次にプロジェクトウィンドウ上段のツールバーから「編集」をクリックして「設定...」を選択します。



8

右の画面が表示されますので、「デフォルト トランジション時間」を0.5秒に設定し、「OK」ボタンをクリックします。

1. 「0.5」秒に設定



2. 「OK」ボタン (レ) をクリック



参考

通常では、この設定は1～2秒の間で設定しますが、ここでは比較的短いクリップで作業をするため、トランジションの長さを若干短くします。

9

ストーリーボードの「レイヤー 2」をクリックし、Swingset ムービー クリップを、「メディア」タブから「レイヤー 2」ストーリーボードにドラッグします。

1. レイヤー 2 をクリック

2. Swingset ムービー クリップ
をドラッグ & ドロップ



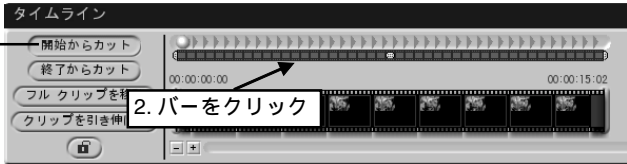
不要な部分をカットする

プレビューウィンドウで再生ボタンをクリックすると子供たちの声に混じって、ムービーの初めの部分と中間の部分に、撮影している人の声が入っていることがわかります。以下の手順でこの部分をカットします。

10

タイムライン領域で「開始からカット」ボタンをクリックし、右側の茶色のバーをクリックしてください。

1. クリック



参考

複数のクリップがある場合は、カットするクリップをストーリーボード上であらかじめ選択しておく必要があります。

11

バーの右側の白いハンドルをインポイントインジケータが1.45～1.55秒の間になるまで移動させます。

白いハンドル部分を移動させます

インポイントインジケータ

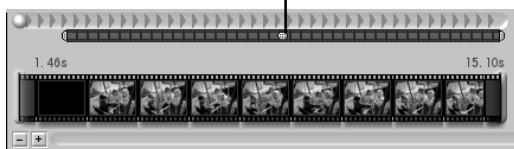


最初の約1.5秒をカットすると、撮影している人の声の最初の部分がカットされます。プレビューウィンドウで再生して確認してみてください。

12

ビデオクリップの中央付近にあるタイムラインスクラバーをクリックします。

クリック



13

プレビューウィンドウの下の青いボールをマウスで動かし、約8.5秒前後まで移動します。（上の早送り・巻き戻しボタンを使用して移動することも可能です）

このボタンを右側のインジケータが「8.50s」前後になるまで移動します。



ムービーがプレビューウィンドウの表示画面内で左上に小さくしか表示されない場合は、ストーリーボード上でクリップを選択し、エディタ領域の「エフェクト」タブ内で「表示可能なフィット」ボタンをクリックしてください。

14

ツールバーより、「メディア」を選択し、「メディアのスライス」を選択してください。以下のように、ストーリーボードとタイムラインでメディアが2つに分割されます。



15

ストーリーボードで2番目のクリップを選択します。プレビューウィンドウで、再度青いボールを選択し、9.5秒まで進め、再度「メディアのスライス」を選択します。

16

ストーリーボードで中央のクリップを選択し右クリックして、「削除」を選択してください。

中央のクリップを選択して右クリックし、削除を選択



中間の約8.5秒～9.5秒をカットすると、撮影している人の声の中間の部分がカットされます。プレビューウィンドウで再生して確認してみてください。

タイトルの挿入

次にムービーにタイトルを挿入します。

17

メディア領域から「マイタイトル」のアイコンをレイヤー2のストーリーボードの前にドラッグ&ドロップします。

マイタイトルをここに
ドラッグ&ドロップ



18

プレビューウィンドウの「最初のフレーム」ボタンをクリックします。

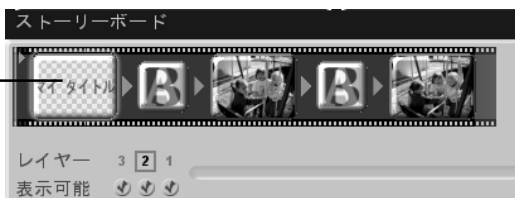
このボタンをクリック



19

レイヤー2のストーリーボード上でタイトルクリップをクリックして選択します。

クリック

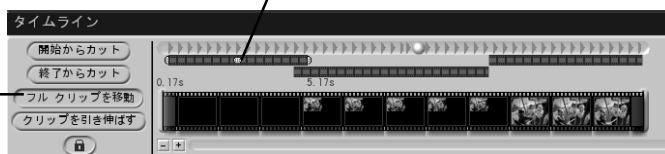


20

タイムライン領域の「フルクリップを移動」ボタンをクリックし、左側タイトルクリップの茶色のバーを選択し、一番左まで移動させます。

1. 「フルクリップを移動」
ボタンをクリック

2. タイトルクリップのバーを
一番左まで移動



21

「エディタ」領域の「タイトル」タブをクリックし、テキスト編集フィールドをクリックし、タイトルを入力します。（ここでは、「A Special Thank You」と入力してみてください）

1. このタブをクリック

2. テキスト編集フィールドをクリック



ここでは必要に応じてフォントとスタイル、サイズを編集することができます。

22

エフェクトタブをクリックし、「イメージの中心揃え」「表示可能なフィット」の各ボタンを押し、マウスでテキストを選択し、表示位置の調整をします。



以上でタイトル編集は終了です。これで、開始タイトルとビデオクリップの登録が終わりました。次にサウンドトラックを追加します。

サウンドを追加する

23

ストーリーボード領域で、レイヤー1のアイコンをクリックし、Fanfare.wavのサウンドファイルを「メディア」タブからストーリーボードにドロップします。

1. レイヤー1を選択
2. サウンドファイルをドラッグ&ドロップ



24

ストーリーボードでサウンドファイルを選択します。タイムライン上でアウトポイントが3.39秒となっていることを確認します。



25

レイヤー2のアイコンをクリックしてストーリーボードでタイトルクリップを選択し、タイムライン上で「終了からカット」ボタンをクリックしてください。

26

タイトルの終了からフレームを切り捨てるために、タイムラインのタイトルクリップの茶色のバーの右側を、アウトポイントがサウンドファイルに一致するまで(3.39 ~ 3.45秒の間)縮めます。



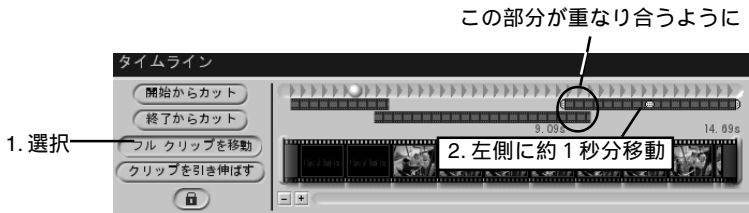
これで、タイトル再生中にサウンドが流れるようになりました。プレビューウィンドウで再生して確認してみてください。

トランジション効果を加える

最後にトランジションを加えます。編集中にムービーの中間を一秒カットしたため、中間に再生の途切れがあります。次の手順で2つのビデオクリップ間のトランジションを手動で調整します。

27

タイムライン領域の「フルクリップを移動」ボタンをクリックし、2番目のビデオクリップのバーをタイムラインの左側に移動し、1番目のクリップとの間で重なり合う領域を1秒ほど作成します。



28

メディア領域の「トランジション」タブをクリックし、登録されているトランジションから好きな物を選び、ストーリーボード上の1番目と2番目のクリップ間にドロップします。プレビューウィンドウで、切り替わり方を確認して、決定してください。

1. クリック

2. 効果を選択して、
ストーリーボード
にドロップ



以上で動画ファイルの編集は終了です。この後は完成したプロジェクトの保存方法についてご説明します。

編集したプロジェクトを保存する

編集したプロジェクトを保存する方法は次の4つがあります。

1. プロジェクトとして保存する
2. 動画ファイルとして保存する
3. ディスクに書き出す
4. B's neoDVD へ送る

1. プロジェクトとして保存する

この場合、「ファイル」メニューから「MovieShop プロジェクトを名前を付けて保存する」を選択してください。保存されたファイルは MovieShop で再編集が可能です。

2. 動画ファイルとして保存する

この場合、「ファイル」メニューから「ムービーを保存する」を選択します。以下のウィンドウが表示されますので、ファイル形式を指定し、「参照」ボタンを押してファイル名および保存場所を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。編集した内容が反映された動画ファイルが指定形式で1つの動画ファイルとして保存されます。



参考

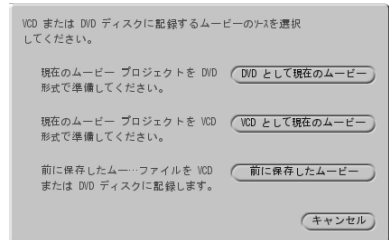
動画ファイル形式は「QuickTime ムービー」「MPEG-1」「MPEG-2」「AVI ムービー」の4種類から選択できますが、保存したファイルを B's neoDVD で使用する場合は、なるべく AVI 形式で保存してください。

また、下の「設定の編集」ボタンをクリックすると各動画ファイル形式に対して詳細な設定を行うことができます。

3. ディスクに書き出す

この場合、「ファイル」メニューから、「ムービーをディスクに保存する」を選択します。以下の画面が表示されるので、記録形式や、現在のプロジェクトまたは保存されているプロジェクトを書き込むのかなど、用途目的に応じて、該当するボタンをクリックしてください。

自動的に B's neoDVD が起動し、neoDVD より、ディスクの書き込みが行われます。(B's neoDVD からのディスクの書き込み設定については、「DVD ビデオの作成」(28 ページ) をご参照ください)

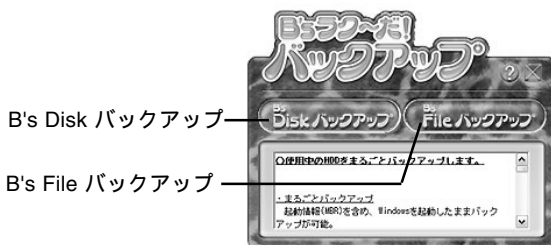


4. B's neoDVD へ送る

B's neoDVD から送られてきたプロジェクトのみ、このオプションを使用できます。「ファイル」メニューから「ムービーを B's neoDVD へ送信する」を選択してください。

B's ラク～だ！バックアップを使用する

「B's ラク～だ！バックアップ」はあらかじめ、用途に応じた使い分けができるように、以下の「B's Disk バックアップ」と「B's File バックアップ」の2つのバックアップソフトに分けられています。



起動時にどちらのタイプのバックアップを行うのかを選択すれば、それぞれの「ウィザード」画面が起動しますので、後は画面の指示に従って進むだけで、簡単にバックアップを行うことができます。

「B's Disk バックアップ」ではハードディスクの環境をまるごとバックアップできるので、新しいWindowsに入れ替える前に元の状態をバックアップしておいたり、万一ハードディスクがクラッシュした時の備えとしてリカバリ-DVD/CDを作っておいたりといった用途でご使用になることができます。

「B's File バックアップ」は大切なデータを定期的にバックアップしたり、画像や音楽データといった特定のファイルだけを選んで保存したりといった用途でご使用になることができます。

！ ご注意

B's File バックアップはDVD+R,+RW、DVD-R,-RW メディアへの書き込みには未対応です。CD-R/RWメディアをご使用になるかハードディスクドライブでご使用ください。

リカバリー DVD/CD の作成方法

ここでは、「Bs ラク～だ！バックアップ」の「Bs Disk バックアップ」を使用し、システムの起動情報を含む内蔵ハードディスクをまるごとDVD+R/RW、DVD-R/RW(CD-R/RW)メディアへバックアップする方法についてご説明いたします。

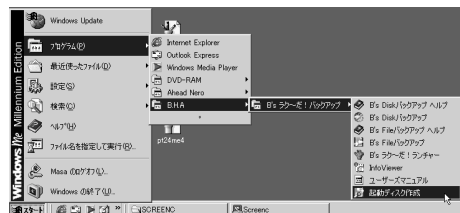
「Bs ラク～だ！バックアップ」には、DVD+RW、DVD-RW メディアおよびCD-RW メディアを消去する機能がありません。書き込み済みのメディアをご使用になる場合には、付属の「Bs Recorder GOLD5」にてあらかじめ消去しておいてください。

1. はじめに「リストア用起動ディスク」を作成します。

- ・はじめに必ず起動ディスクを作成してください。このディスクを「リストア用起動ディスク」と呼びます。
- ・また起動ディスク作成後は、必ず正常に起動することを確認してください。

1-1

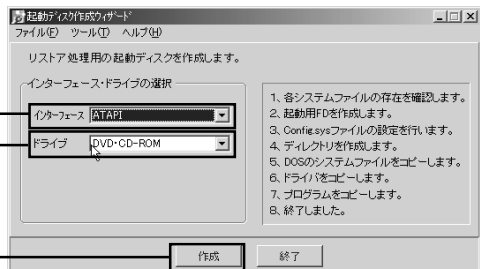
「スタート」「プログラム」「B.H.A」「Bs ラク～だ！バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から「起動ディスク作成」を選択してください。



1-2

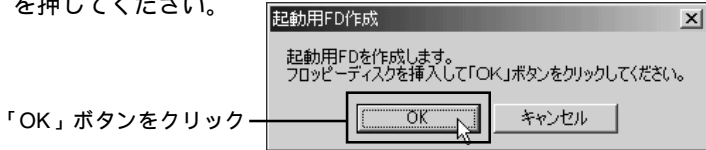
起動ディスク作成ウィザードが起動します。インターフェースの欄で「ATAPI」を「選択」し、ドライブに「DVD・CD-ROM」を選択して「作成」ボタンをクリックしてください。

1. 「ATAPI」を選択
2. DVD・CD-ROM を選択
3. 「作成」ボタンをクリック



1-3

下のメッセージが表示されます。フロッピーディスクドライブに書き込み可能なフロッピーディスクをセットして、「OK」ボタンを押してください。

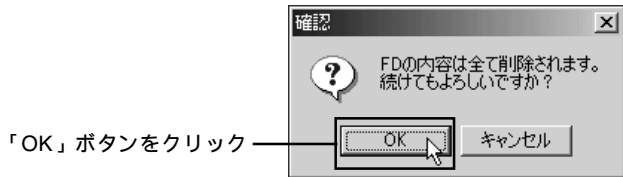


! ご注意

起動用のフロッピーディスクは必ず 1.44MB タイプの物をご使用ください。720KB タイプおよび 1.2MB タイプのフロッピーディスクでは起動ディスクは作成できません。

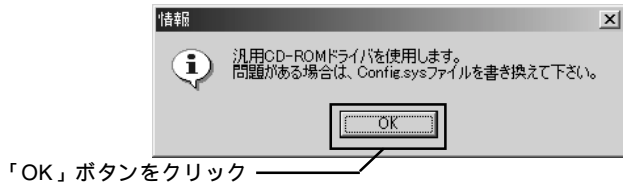
1-4

確認のメッセージが表示されます。セットしたフロッピーディスクの内容が削除されても構わない場合は「OK」ボタンをクリックしてください。表示されない場合は 1-5 へお進みください。



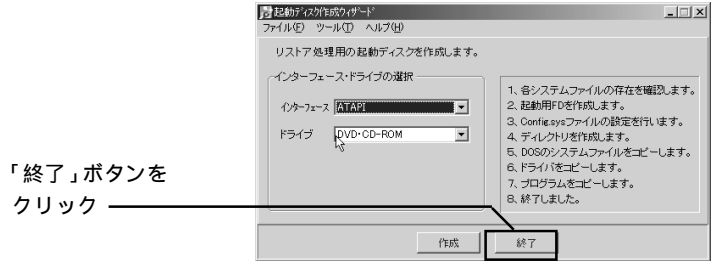
1-5

下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



1-6

作成が終了したら「終了」ボタンをクリックしてください。



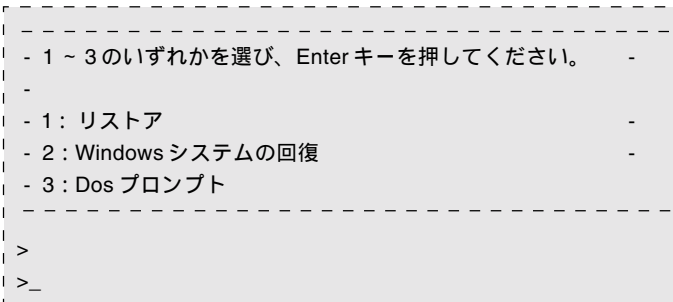
以上で起動ディスクの作成は終了です。次に作成した「リストア用起動ディスク」で、パソコンが起動できることを確認します。

1-7

「リストア用起動ディスク」をフロッピードライブに挿入した状態で、パソコンを再起動してください。

1-8

正常に起動した場合は、以下のような起動ディスクのメニューが表示されます。



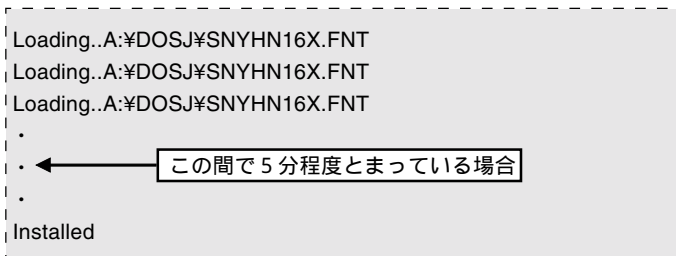
このメニューが表示された場合は、リストア用起動ディスクをドライブから取り出し、パソコンの電源を切ります。これでテストは完了です。

「2. 起動ドライブのバックアップをします。」へお進みください。

Point ポイント

フロッピーディスクドライブからコンピュータを起動するには、あらかじめパソコンのBIOS設定で、フロッピーディスクドライブの起動順位を一番に指定しておく必要があります。BIOS設定についてはパソコンに添付されているマニュアルなどをご参照ください。

以下の画面の状態で、起動までに時間がかかる場合は、いったん作成したディスクを取り出し、システムを再起動して、下の「起動オプションを設定する」へお進みください。



途中で画面のメッセージが止まって動かない場合も、いったん作成したディスクを取り出し、システムを再起動して、下の「起動オプションを設定する」へお進みください。

Point ポイント

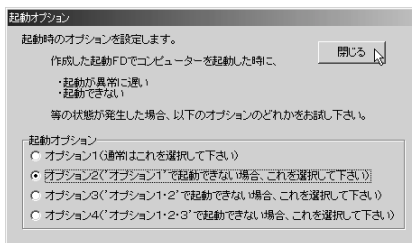
パソコンが起動しない場合は、BIOSの設定が正しくないか、パソコン側の異常です。ご使用のパソコンの発売元にお問い合わせください。

起動オプションを設定する

起動ディスクが正常に動作しない場合は、以下の手順で起動オプションを変更して起動ディスクを作成しなおしてください。

55 ページの 1-1 を参照して「起動ディスク作成ウィザード」を起動します。「起動ディスク作成ウィザード」のメニューバーから「ツール」「オプション設定」を選択します。

右の画面が表示されますので「オプション2」を選択し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



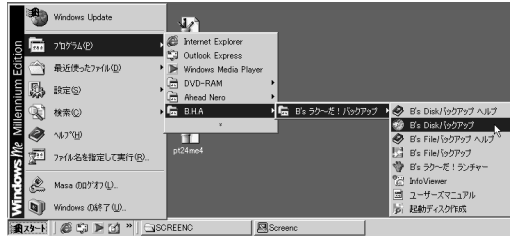
この後は 55 ページ 1-2 以降の手順を繰り返し、もう一度起動ディスクを作成します。

作成後、正常に起動するかを確認してください。(前ページ 1-7 以降参照)
正常に起動した場合は、「2. 起動ドライブのバックアップをします。」へお進みください。
正常に起動しない場合は、「オプション3」「オプション4」の順に試してみてください。

2. 起動ドライブのバックアップを行います。

2-1

「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク~だ! バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から「B's Disk バックアップ」を選択してください。

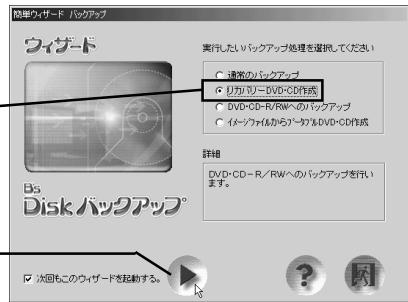


2-2

簡単ウィザードが起動しますので、「リカバリーDVD・CD作成」のラジオボタンを「ON ()」にして「次へ」ボタン(三角のボタン)を押してください。

1. 「リカバリーDVD・CD作成」を選択して、

2. 「次へ」ボタンをクリック

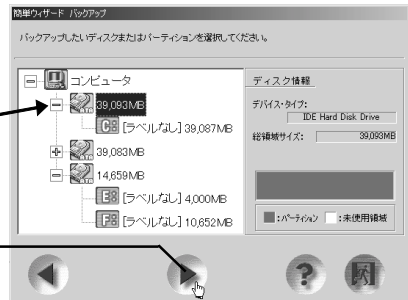


2-3

バックアップするディスクを選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

1. ディスクを選択

2. 「次へ」ボタンをクリック



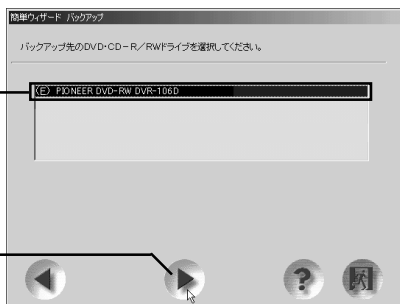
上のドライブ選択画面はあくまでも一例です。ご使用のシステムをご確認の上、正しいドライブを選択してください。

2-4

バックアップ先のDVD・CD-R/RWドライブ選択画面が表示されます。本製品のドライブ名（PIONEER DVD-RW DVR-106D）を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 本製品のドライブ名
(PIONEER DVD-RW DVR-106D) を選択

2. 「次へ」ボタンを
クリック

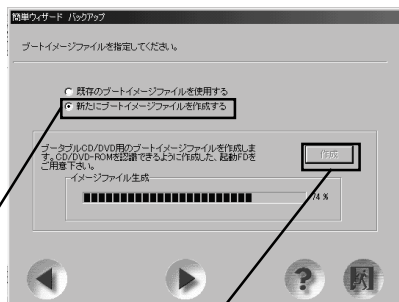


2-5

下の画面が表示されます。

「新たにブートイメージファイルを作成する」を選択して、「作成」ボタンをクリックしてください。

1. 「新たにブートイメ
ジファイルを...」を選
択して、
2. 「作成」ボタンを
クリック



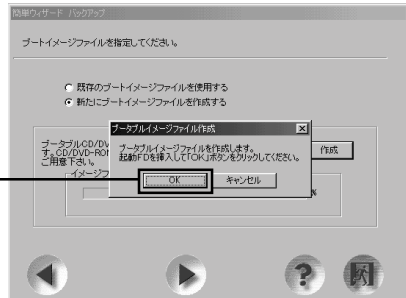
ブートイメージファイルを一度作成したら、次回からは「既存のブートイメージファイルを使用する」を選択してバックアップを行ってください。

2-6

下の画面が表示されます。

先ほど作成した「リストア用起動ディスク」をフロッピードライブに挿入して、「OK」ボタンをクリックしてください。ブートイメージファイルの作成が開始されます。

「リストア用起動ディスク」をフロッピードライブに挿入して、「OK」ボタンをクリック



2-7

下の画面が表示されます。

ブートイメージファイルの作成が完了すると、以下の画面になります。「OK」ボタンをクリックして「情報」メッセージボックスを閉じた後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

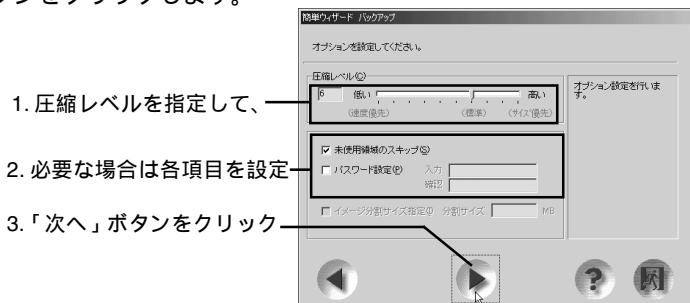
1. 「OK」ボタンをクリック

2. 「次へ」ボタンをクリック



2-8

下の画面が表示されます。ここではバックアップファイルの圧縮レベルを0から9で設定することができます。数値が大きいほど圧縮率が高くなり、バックアップファイルの容量は小さくなります。通常は標準(レベル6)のままにしてください。必要な場合は、その下の各項目を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。



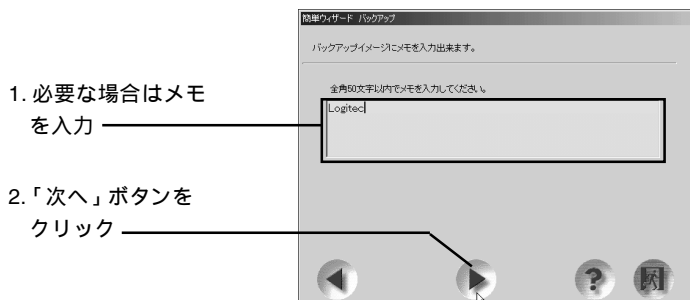
Point ポイント

「未使用領域のスキップ」にチェックを入れると、ドライブ内の使用していない領域をスキップしてバックアップを行うため処理が早くなります。

パスワードを設定すると、リストア時にパスワード入力が必要になります。この設定を行うと第三者が勝手にシステムをリストアできないようにすることができます。ただし、設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。リストアができなくなります。

2-9

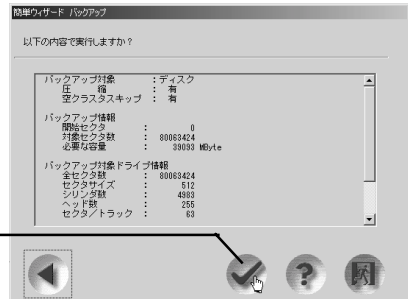
必要に応じてバックアップイメージに添付できるメモを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。メモは全角で50文字まで入力できます。何も入力しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



2-10

バックアップ内容が表示されます。内容を確認して、チェック「レ」ボタンをクリックしてください。

内容を確認したら
「レ」ボタンをク
リック



2-11

環境設定画面が表示されます。「環境設定」タブを選択し、「使用可能なドライブ」に本製品 (PIONEER DVD-RW DVR-106D) が選択されていることを確認して、以下のように設定を行ってください。

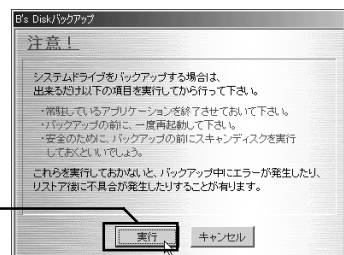
1. 「環境設定」タブを選択
2. 本製品が選択されていることを確認
3. 「作業用ドライブを使用せずに直接メディアへ書き込む」をチェック
4. 「書き込み時に毎回表示する」をチェック
5. 「設定」ボタンをクリック



2-12

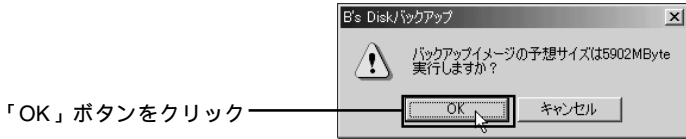
下の画面が表示されます。注意事項をご確認の後、「実行」ボタンをクリックしてください。

「実行」ボタンをクリック



2-13

確認のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



2-14

バックアップが実行されます。実行中は進行状況がパラメータで確認できます。



! ご注意

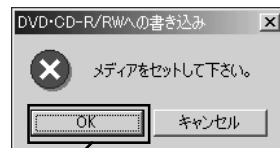
- ・ バックアップ中は、他のアプリケーションを開いたりしないでください。
- ・ バックアップは、バックアップするディスク容量や圧縮レベルの設定、ご使用のパソコンのスペックに依存しますが、最低でも1時間以上かかります。
- ・ バックアップ中にセクタの読み込みエラーがあった場合、そのセクタアドレスの一覧が表示されます。これらのセクタのデータはバックアップされませんので、リストアを実行しても該当セクタ上に存在するファイルは復元できません。スキャンディスクまたはエラーチェックを実行してからもう一度バックアップを実行すると改善されることがあります。

2-15

セットしたメディアがいっぱいになった場合、下の画面が表示されますので、新しいメディアをセットして「OK」ボタンをクリックしてください。表示されない場合は2-17へお進みください。

! ご注意

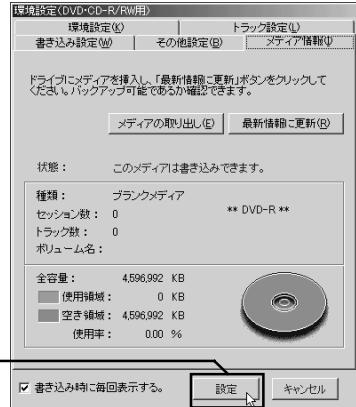
ここで、「キャンセル」をクリックすると作業が終了してしまいます。



「OK」ボタンをクリック

2-16

再度環境設定画面が表示されますので、そのまま「設定」ボタンをクリックしてください。



「設定」ボタンをクリック

2-17

「終了しました」と表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



「閉じる」ボタンをクリック

以上でバックアップは終了です。バックアップ後は必ず、DVD/CDにバックアップしたイメージデータのチェックを行ってください。イメージデータのチェックは、「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B'sラク~だ! バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から「InfoViewer」を起動して行います。

「リストアについて」では、作成したりカバリー DVD/CDからシステムをリストアする方法についてご説明いたしますので、そちらもご参照ください。

リストアについて

ここでは、作成したリカバリーDVD/CDメディアからシステムをリストアする方法についてご説明いたします。その他のリストア方法（パーティション単位でのリストアなど）については、「B's ラク～だ！バックアップ」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

なお、説明に使用する画面内の数値部分はすべて一例です。実際に表示される数値は、ご使用の環境により異なります。

パソコンの電源が切られている状態で、フロッピーディスクドライブに「リストア用起動ディスク」をセットします。

本製品の場合、「リストア用起動ディスク（フロッピーディスク）」を使用せずに、直接リカバリーDVD/CDから起動が可能です。
その場合、本製品からの起動が行えるように、あらかじめパソコンのBIOSを設定しておく必要があります。

パソコンの電源を入れます。

以下のメッセージが表示されます。キーボード上で「1」キーを押して、「Enter」キーを押します。

```
- 1 ~ 3 のいずれかを選び、Enter キーを押してください。 -  
-  
- 1 : リストア -  
- 2 : Windows システムの回復 -  
- 3 : Dos プロンプト -  
  
>  
>_
```

リストアプログラムが起動します。（起動するまでしばらく時間がかかる場合があります）下の画面が表示されたら「」のカーソルで「>リストア」を選択し、「Enter」キーを押してください。

```
B's Disk バックアップ Version x.x バックアップイメージ復元プログラム  
  
処理を選択して下さい。  
> リストア  
終了
```

以下の画面が表示されたら、本製品(Q:)を選択し、「Enter」キーを押してください。

ATAPI 接続の DVD/CD-ROM ドライブが複数台ある場合はドライブ名が異なる場合があります。

バックアップイメージのあるドライブを選択して下さい。		
: ドライブ	: ボリュームラベル	:
:	A : (フロッピーディスク)	:
:	C : XXXXXX	:
:	Q : (CD-ROM)	:
:		:

以下のメッセージが表示されたら、作成済みのリカバリー DVD/CD メディアを本製品にセットし、「スペース」キーを押してください。

リストア
メディアをセットして何かキーを押してください。

フォルダの指定画面が表示されます。作成したリカバリーDVD/CDは、ルートディレクトリにイメージファイルが書き込まれているので、ここでは「 」のカーソルで「いいえ」を選択して、「Enter」キーを押します。

フォルダの指定
イメージファイルのフォルダを指定しますか？
は い <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/>

バックアップログが表示されます。内容を確認して「Enter」キーを押してください。

バックアップログ	確認後 [Enter] を押して下さい。
バックアップ対象	: ディスク
圧縮	: 有
空クラスタスキップ	: 有
バックアップ情報	

リストアについて

リカバリー DVD/CD の作成時にパスワードを設定していた場合、以下の画面が表示されますので、パスワードを入力し、「Enter」キーを押してください。設定していない場合は手順 へお進みください。

パスワード確認
パスワードを入力して下さい。
<input type="text"/>

バックアップしたディスク内に複数のパーティションが存在する場合は、下の画面が表示されます。「」のカーソルで「**ディスク全体をリストアする**」を選択して「Enter」キーを押してください。

(表示されない場合は、手順 へお進みください。)

リストアするパーティションを選択してください。			
: No :	セクタ数	: 容量 (MB)	: FAT タイプ
ディスク全体をリストアする			
: 1 :	3084417	: 1506	: Fat16
: 2 :	4192965	: 2407	: Fat32
: 2 :	4192965	: 2407	: NTFS

以下の画面が表示されます。下の注意事項をご確認の上、「」のカーソルでリストア先のディスクを選択し、「Enter」キーを押してください。

リストア先ディスクを選択してください。			
: No :	パーティション数	: 容量 (MB)	: ドライブ
: 0 :	2	: 12416	: C:,F:
: 1 :	3084417	: 2063	: D:
: 2 :	4192965	: 4118	: E:

！ ご注意

リストア先に指定したディスク内にデータが残っていた場合、そのデータはすべて削除されます。

確認の画面が表示されます。リストアを実行してよければ、「」「」のカーソルで「はい」を選択し、「Enter」キーを押してください。

Bs Disk バックアップ Version x.x バックアップイメージ復元プログラム

以下のドライブをリストアします。

: ドライブ-パーティション: ボリュームラベル: セクタ数: 容量 (MB) FAT タイプ
: 1-0: : 205647 : 1004 : FAR32

リストア元バックアップイメージ

: バックアップ日付: タイプ : スキップ
: 2003/2/26 : パーティション: 有

イメージファイル

: E:¥01BSBKUP.INF
: E:¥BACKU

リストア

リストア先の内容は削除されます。この内容で実行しますか?

はい いいえ

リストアが完了すると、終了のメッセージが表示されますので、「Enter」キーを押してください。

リストア処理を終了しました。(所要時間 XX分)

以下の画面が表示されますので、「終了」を選択し、「Enter」キーを押してください。

処理を選択して下さい。

リストア

> 終了

再起動を確認するメッセージが表示されますので、「リストア用起動ディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出して、「Enter」キーを押してください。

リストア

再起動します。

Windows が再起動したら、リストアは完了です。

再起動時に ScanDisk が実行されることがありますが、これは異常ではありません。

ソフトウェアについて

B's STUDIO 内のソフトウェアについて

B's STUDIO は「B's neoDVD/B's neoDIRECT」「MovieShop」「B's Recorder GOLD5」「B's Movie Player」の4つのソフトウェアで構成されています。ここでは、これらのソフトウェアの主な特徴と、ユーザーズマニュアルやヘルプファイルの参照方法についてご説明いたします。

B's neoDVD / B's neoDIRECT

「B's neoDVD」は映像素材のキャプチャからライティングまで簡単な操作で行うことができる動画キャプチャ・DVDオーサリング+ライティングソフトウェアです。作成したプロジェクトや、動画キャプチャデータをそのままメディアへ書き込むことのできる「Direct-to-Disc 機能」が使用可能です。ユーザーによるオーサリングやライティング操作が不要ですので、手軽にDVDビデオの作成を行うことができます。

「B's neoDIRECT」はDVカメラの映像を直接メディアに書き込むことができるので、撮影した映像をそのままメディアにダビングしておくといった用途に適しています。

いずれのソフトウェアもDVD+VRフォーマットに対応していますので、DVデータのリアルタイムキャプチャが可能です。また、キャプチャしたDVDファイルを、DVD+RWメディア上で追加・編集・削除を行ってもDVDプレーヤーとの再生互換を保つことができます。



B's neoDVD (作成モード)



B's neoDIRECT

DVD+VR フォーマットとは...

DVD+RWメディア上で映像の追記や削除、編集を行ってもDVDプレーヤーとの互換性を維持することが可能な映像記録フォーマットです。このフォーマットでDVD+RWメディアに書き込みを行えば何度編集を行ってもDVDプレーヤーで再生が可能になります。

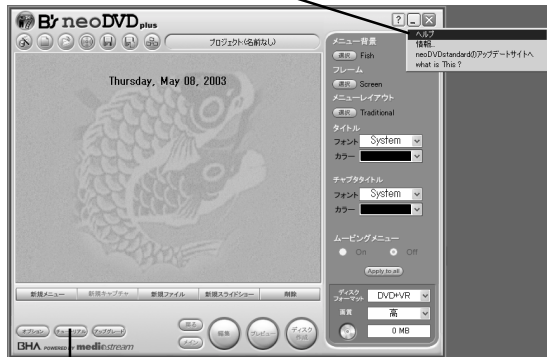
ヘルプファイル・チュートリアル参照方法

B's neoDVD/B's neo DIRECT の操作方法や、各プロジェクトウィンドウ内の機能については、ヘルプファイルまたはチュートリアルをご参照ください。

ヘルプファイルはソフトウェアの起動後にプロジェクトウィンドウ右上の「？」ボタンをクリックして表示される一覧から「ヘルプ」を選択します。(B's neoDVD のみ)

チュートリアルはプロジェクトウィンドウ左下の「チュートリアル」ボタンをクリックして参照します。

「？」をクリックして「ヘルプ」を選択



チュートリアルボタン

B's neo DVD の場合

(ボタンの場所は B's neoDIRECT でも同じです)



ご注意

- ・ B's neoDVD を使用してキャプチャモードでキャプチャしたファイルを MovieShop で編集する場合、AVI形式で保存を行うようにしてください。
- ・ B's neoDIRECT の操作については、「チュートリアル」から、「VIDEO」を選択し「ビデオを直接ディスクに書き込む」をご参照ください。

MovieShop

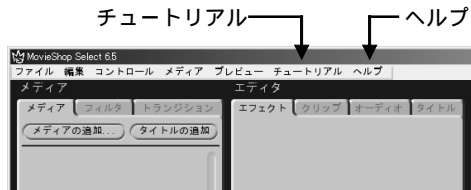
Movie Shop は B's neoDVD との連携が取れた動画編集ソフトです。映像にタイトルを入れたり、無駄な部分をカットしたり、シーンの切り替えにトランジションを入れたりすることができます。また、ムービークリップに音楽ファイルの音声を重ねることもできます。編集中は、プレビューウィンドウでいつでも編集した内容を確認できるので、設定した効果が狙い通り反映されているかどうか簡単にチェックできます。



ヘルプファイル・チュートリアル参照方法

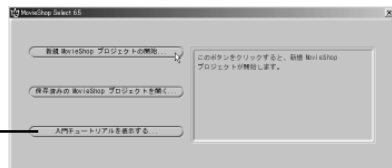
MovieShop の操作方法や、プロジェクトウィンドウ内の機能については、MovieShop のヘルプファイルまたはチュートリアルをご参照ください。

ヘルプファイル、チュートリアル共にMovieShopの起動後にツールバーの「ヘルプ」または「チュートリアル」を選択すると起動します。



また、チュートリアルは B's タスクバーから「VIDEO」ボタンをクリックし、展開されるサブメニューから「ビデオ編集」を選択し、表示されるセレクトウィンドウで「入門チュートリアルを表示する...」を選択しても参照できます。

ここからもチュートリアルを参照できます。



B's Recorder GOLD5 BASIC

オリジナルDVDやCDの作成、DVDやCDのバックアップ用途に最適なソフトウェアです。データの登録から書き込みまでの作業が一画面で完結する「ウィザード機能」で、簡単にDVDやCDを作ることができます。

特徴

ウィザード機能

起動時に表示される補助メニューからウィザード機能に従って操作を行えば、初心者でも簡単にDVD/CDを作成できます。

オリジナル音楽CDの作成

音楽CDやWAVファイル、MP3/TwinVQなどからお気に入りの曲を集めて、オリジナルの音楽CDを作成できます。

PCデータの書き込み

DVD-ROM互換のPCデータの書き込みが可能です。DVD-R、DVD+Rメディアの場合には、データの改ざんができない特性を生かして、重要なデータの保存にも活用できます。また、追記書き込みに対応(1)しているので、メディアの容量を最大限に使用できます。DVD-RW、DVD+RWメディアの場合には、書き込んだデータをいったん消去することにより、再度書き込みを行うことができます。

CD/DVDのコピー機能

簡単な設定でCDやDVDをまるごとコピーすることができます。また、HDDバックアップ機能も備えておりますので、ウィザードに従って操作を進めるだけで大容量HDDも簡単にバックアップできます。


- 1 追記書き込み可能な状態で書き込んだディスクはWindows XP、Windows 2000 (ServicePack 3 以降) でのみ読み込みが可能です。

ユーザーズマニュアルの参照方法

ユーザーズマニュアルを参照するには、B's Recorder GOLD5 インストール後に、「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's Recorder GOLD5」「ユーザーズマニュアル」と選択します。

補助メニューについて

B's Recorder GOLD5 は起動時に、下のような補助メニューが表示されます。補助メニュー内の各ボタンをクリックすると以下のような機能を簡単な操作で使用することができます。



B's Recorder GOLD5へようこそ！

作成したいCDやおこないたい作業を選択してください。
各ボタンにカーソルを合わせると、機能の説明がここに
表示されます。

データ 音楽CD ビデオCD コピー リッピング

次回起動時にも表示する

環境設定 閉じる

ビデオCD ボタン：
ビデオCDを作成する
場合、このボタンをク
リックします。

リッピングボタン：音楽CD等のデータを
WAVファイルやMP3、TwinVQファイルと
してパソコンに取り込む場合、このボタ
ンをクリックします。

コピーボタン：DVD/CDをまるごとコピーする場合、
このボタンをクリックします。

音楽CDボタン：リッピング機能を使用して取り込んだ音声のデータ
を音楽CDとしてメディアに書き込む場合、このボタンをクリックし
ます。

データボタン：データDVD/CDを作成する場合、このボタンをクリックします。

B's Movie Player

B's Movie PlayerはDVDビデオを楽しんでいただくための多くの機能が搭載されたDVDビデオの再生ソフトウェアです。B's MoviePlayerを使用するには、再生可能なDVDメディアをドライブにセットしてB's タスクバーより「PLAY」ボタンをクリックし、表示されるサブメニューから「DVDビデオを再生する」をクリックします。

ヘルプファイルの参照方法

B's MoviePlayerのヘルプファイルは、起動後にプレイヤー左下の「？」ボタンをクリックすると参照することができます。



このボタンをクリック

B's ラク～だ！バックアップについて

B'sラク～だ！バックアップは、ハードディスクをまるごとバックアップ可能な「B's Diskバックアップ」と、データファイルを簡単に効率よくバックアップできる「B's Fileバックアップ」の二つのソフトウェアから構成されています。

現在ご使用中のパソコン環境を「B's Diskバックアップ」でまるごとバックアップしておき、日々増加を続ける大切なデータファイルは「B's Fileバックアップ」を使って効率よくバックアップすることにより、トラブルが発生してもすばやく対処できます。

B's Diskバックアップ

- ・ハードディスクおよびパーティション単位でまるごとバックアップが可能。
システムの起動情報を含む、ハードディスクのバックアップが可能です。
- ・ブータブルDVD/CDの作成が可能。
起動可能なリカバリー用DVD/CD-ROMを作成できます。
- ・大容量ディスクも高速バックアップ
ハードディスク内の未使用領域をスキップして、高速なバックアップが可能です。

B's Fileバックアップ

- ・目的に合わせて選べるバックアップ方法。
複雑な設定なしにバックアップを実行できる「簡単ウィザード」によるバックアップ、バックアップするファイルの条件を詳細に決められる「詳細」バックアップ、同じバックアップを繰り返すのに便利な「ショートカット」によるバックアップが可能です。
- ・「差分バックアップ」でバックアップ時間を短縮可能。
一回目のバックアップでは全てのファイルをバックアップしますが、二回目以降は変更のあったファイルや、新しいファイルのみバックアップされます。大量のファイルがバックアップの対象となる場合、差分のみバックアップすることにより、作業時間が短縮されます。

ご注意

B's File バックアップはDVD+R,+RW、DVD-R,-RW メディアへの書き込みには未対応です。CD-R/RWメディアをご使用になるかハードディスクドライブでご使用ください。

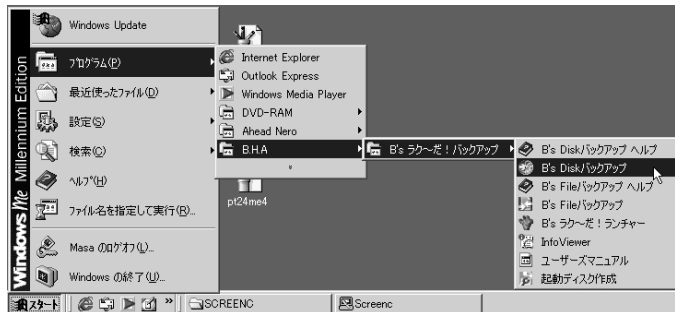
ユーザーズマニュアルの参照方法

操作方法についてはB's ラク～だ！バックアップのユーザーズマニュアル(PDF形式)をご参照ください。

ユーザーズマニュアルを参照するには、B's ラク～だ！バックアップのインストール後に、「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク～だ！バックアップ」「ユーザーズマニュアル」と選択します。

起動方法について

インストール後「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク～だ！バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から起動したいメニューを選択します。(下の図はB's Disk バックアップを選択した場合の例)



B's CLiP について

B's CLiP はパケットライティング方式で DVD+RW メディア、DVD-RW メディア、CD-RW メディアへのパソコンのデータの書き込みが可能なソフトウェアです。ファイルやフォルダ単位の書き込みが可能ですので、大容量コンテンツのバックアップや、日々データを更新するような作業に有効です。

ドラッグ & ドロップでデータのコピーが可能

エクスプローラなどからドラッグ & ドロップするだけでファイルやフォルダ単位でコピーができる FDD や MO と同様の機能が DVD+RW、DVD-RW、CD-RW メディアに対して行うことができます。



ご注意

B's CLiP は、他社製のパケットライティングソフトと同時に使用できません。他社製のパケットライティングソフトがインストールされている場合はそのソフトをアンインストール（削除）する必要があります。

Windows XP で、エクスプローラの書き込み機能を使用する場合は B's CLiP をインストールしないでください。この 2 つの機能も重複して使用することはできません。

ユーザーズマニュアルの参照方法

ユーザーズマニュアルを参照するには、B's CLiP インストール後に「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's CLiP」「ユーザーズマニュアル」を選択します。

起動方法について

B's CLiP は Windows 起動時に、自動的に起動します。

使用上のご注意

B's CLiP での書き込みを行う際は、事前にメディアをフォーマットする必要があります。

Windows Me、98 Second Edition を使用する場合、2GB を超えるデータのコピーができない場合があります。

付録

ソフトウェアのインストール方法がわからない場合

ここでは、付属の「Software Pack」CD-ROM からソフトウェアをインストールする手順の詳細についてご説明いたします。

B's STUDIO のインストール

付属の「Software Pack」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

自動的にセットアップランチャーが表示されます。「B's STUDIO」の左側にあるボタンをクリックします。

クリック



セットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

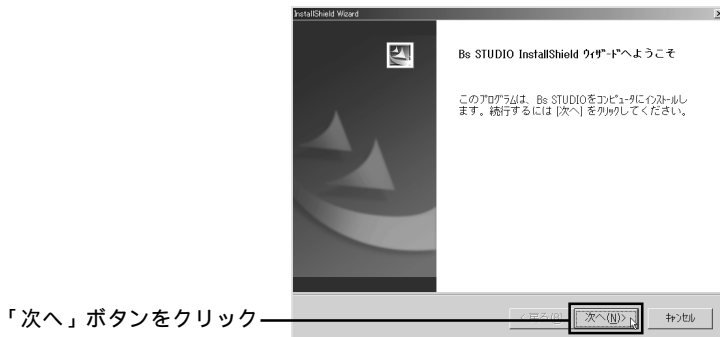
ここで入力する「Q:」は CD-ROM がセットされている CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。

以下の画面が表示されます。「B's STUDIOの使用許諾契約について」をクリックし、内容をご確認の後、「インストール」ボタンをクリックしてください。

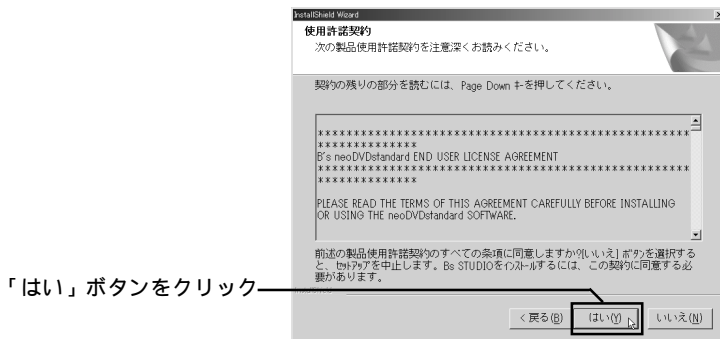
クリック



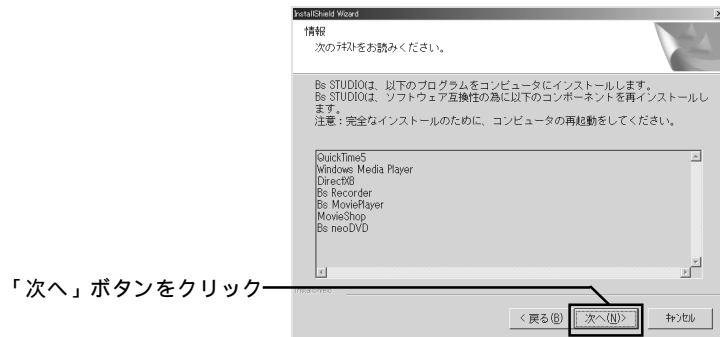
インストールウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



使用権許諾契約画面が表示されます。内容を確認して同意される場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

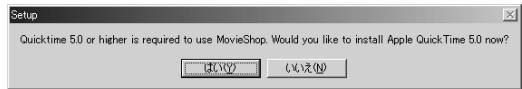


インストールするソフトウェアの一覧が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



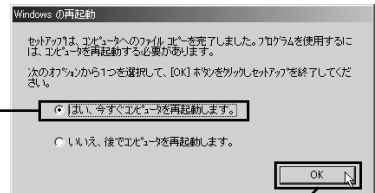
インストールが始まります。B's STUDIO に含まれる全てのソフトウェアを一度にインストールするため、インストールには多少時間がかかります。

インストール中に以下の画面が表示された場合、システムにQuick Time5.0以降のバージョンがインストールされていない場合は「はい」ボタンを、既にQuick Time5.0以降がインストールされている場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。



インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「はい、今すぐコンピュータを...」を選択して



2. 「OK」ボタンをクリック

コンピュータが再起動したら、B's STUDIO が使用可能となります。以上でB's STUDIO のインストールは終了です。

B's ラク～だ！バックアップのインストール

付属の「Software Pack」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

自動的にセットアップランチャーが表示されます。「B's ラク～だ！バックアップ」の左側にあるボタンをクリックします。

クリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。

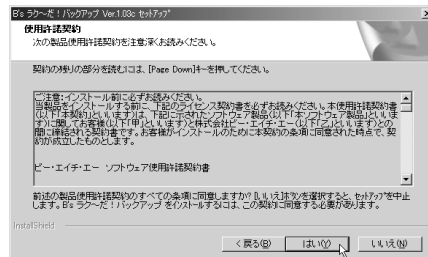
クリック



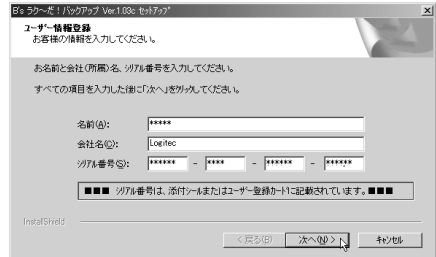
インストールウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



使用権許諾契約画面が表示されます。内容を確認して同意される場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

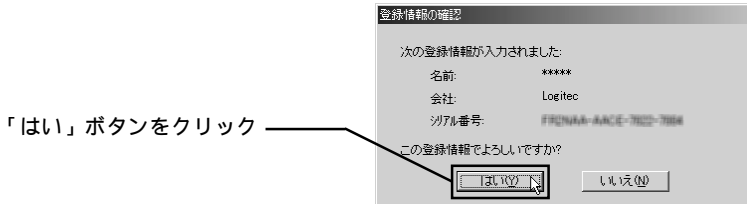


ユーザー情報登録画面が表示されます。必要に応じて名前と会社名を入力し、半角英数字でシリアル番号を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

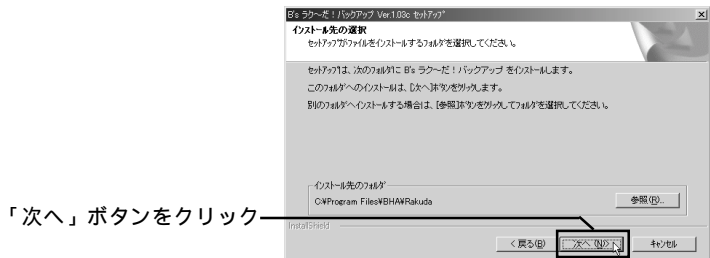


シリアル番号は本書巻末をご参照ください。

確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。



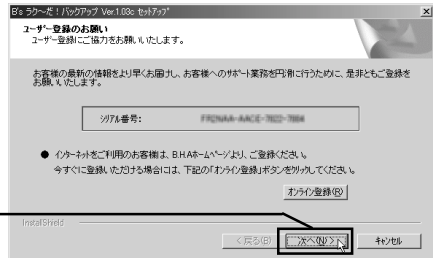
インストール先のフォルダを選択する画面が表示されます。特に問題がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



なお、ここで「参照」ボタンをクリックするとインストール先のフォルダを指定することができます。(コンピュータに詳しい知識のある人向き)

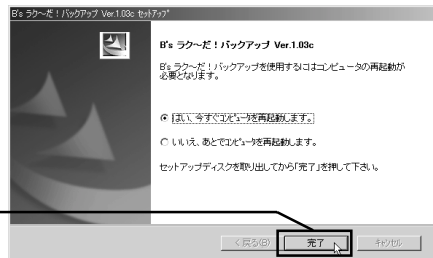
インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。(ここで、「オンライン登録」ボタンを押すと株式会社ビー・エイチ・エーのホームページよりオンライン登録が行えます)

「次へ」ボタンをクリック



以下の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

「完了」ボタンをクリック



コンピュータが再起動したら、B's ラク～だ！バックアップが使用可能となります。以上で B's ラク～だ！バックアップのインストールは終了です。

B's CLiP のインストール

付属の「Software Pack」CD-ROM を CD-ROM ドライブ にセットします。

自動的にセットアップランチャーが表示されます。「B's CLiP」の左側にあるボタンをクリックします。

クリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。

クリック



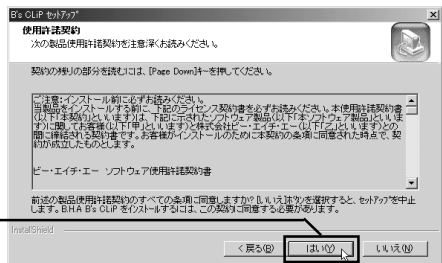
セットアップウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」ボタンをクリック

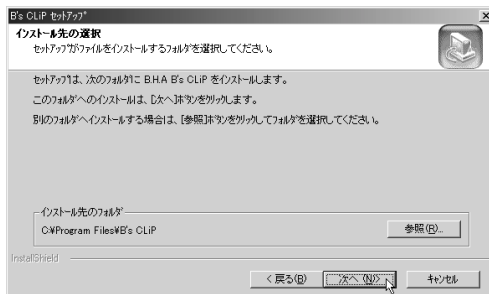


使用許諾契約画面が表示されます。内容を確認して同意される場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」ボタンをクリック

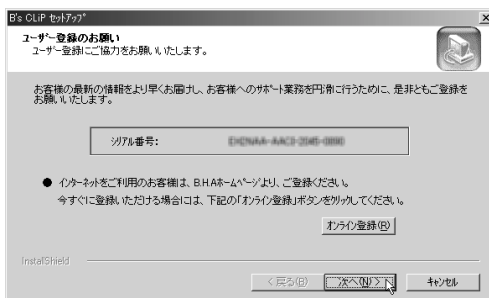


インストール先のフォルダを選択する画面が表示されます。特に問題がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。

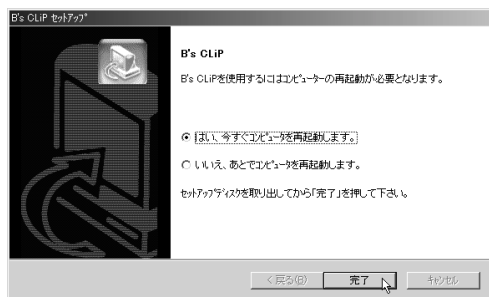


なお、ここで「参照」ボタンをクリックするとインストール先のフォルダを指定することができます。(コンピュータに詳しい知識のある人向き)

インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。(ここで、「オンライン登録」ボタンを押すと株式会社ビー・エイチ・エーのホームページよりオンライン登録が行えます)



以下の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。



コンピュータが再起動したら、B's CLiP が使用可能となります。以上で B's CLiP のインストールは終了です。

アンインストールについて

システムから付属のソフトウェアをアンインストールする場合の手順についてご説明します。



ご注意

B's STUDIO をアンインストール（削除）する場合、B's STUDIO に含まれるソフトウェアをすべて個別にアンインストールしなくてはなりません。

Windows XP の場合

「スタート」 - 「コントロールパネル」を選択します。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されますので、「プログラムの追加と削除」をクリックしてください。

「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ左側のタグで「プログラムの変更と削除」が選択されていることを確認して、「現在インストールされているプログラム」より、以下の項目を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックしてください。（同時には全てのソフトウェアを選択することはできません。一つ一つ順番に削除します）

項目名

B.H.A B's CLiP

BHA B's Recorder GOLD5

B's ラク～だ！バックアップ

MovieShop

neoDVDplus

neoPLAYER DVD プレーヤ

「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されたら、「OK」ボタンまたは「はい」ボタンをクリックしてください。（ここで、ウィザードが起動した場合は「削除」が選択されている状態で「次へ」をクリックしてください。）

アンインストールが終了したら、「メンテナンスの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。「コンピュータからプログラムを削除」ウィンドウが表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows Me/98SEの場合

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択します。

「コントロールパネル」ウィンドウから「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウで「インストールと削除」タブが選択されていることを確認して、表示されているリストの中から、以下の項目を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。(同時には全てのソフトウェアを選択することはできません。一つ一つ順番に削除します)

項目名

B.H.A B's CLiP

BHA B's Recorder GOLD5

B's ラク～だ！バックアップ

MovieShop

neoDVD plus

neoPLAYER DVD プレーヤ

「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されたら、「OK」ボタンまたは「はい」ボタンをクリックしてください。(ここで、ウィザードが起動した場合は「削除」が選択されている状態で「次へ」をクリックしてください。)

アンインストールが終了したら、「メンテナンスの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。

「コンピュータからプログラムを削除」ウィンドウが表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows 2000 の場合

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」と選択します。

「コントロールパネル」ウィンドウから「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウが起動したら、左側のタブで「プログラムの変更と削除」が選択されていることを確認して、「現在インストールされているプログラム」より、以下の項目を選択し、「変更 / 削除」ボタンをクリックしてください。(同時には全てのソフトウェアを選択することはできません。一つ一つ順番に削除します)

項目名

B.H.A B's CLiP

BHA B's Recorder GOLD5

B's ラク～だ！バックアップ

MovieShop

neoDVDplus

neoPLAYER DVD プレーヤ

「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されたら、「OK」ボタンまたは「はい」ボタンをクリックしてください。(ここで、ウィザードが起動した場合は「削除」が選択されている状態で「次へ」をクリックしてください。)

アンインストールが終了したら、「メンテナンスの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。

「コンピュータからプログラムを削除」ウィンドウが表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - 4242AKB
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2MB
インターフェース		Ultra ATA / 33 (E - IDE)
コネクタ形状		ピンヘッダータイプ 40 ピン
ドライブメーカー		PIONEER
アクセス 速度*1	DVD+ R への書き込み *2	4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD+ RW への書き込み *2	2.4 倍速
	DVD- R への書き込み *2	4 倍速 / 2 倍速
	DVD- RWへの書き込み *2	2 倍速 / 標準速
	CD- R への書き込み *2	16 倍速 / 12 倍速 / 8 倍速 / 4 倍速
	CD- RWへの書き込み *2 *3	10 倍速 / 4 倍速
	DVD- ROMの読み込み	最大 12 倍速
	DVD+ R、DVD+ RW DVD- R、DVD-RW の読み込み	最大 6 倍速
	CD- ROM、CD- R CD- RWの読み込み	最大 32 倍速
記録方式	DVD+ R	Disc at once 方式
		Sequential Write 方式
		Multi Session 方式
		Packet Write 方式
	DVD+ RW	Random Access Write 方式
		Sequential Write 方式
	DVD- R	Disc at once 方式
		Incremental recording 方式
		Multi Border 方式
	DVD- RW	Disc at once 方式
		Restricted Overwriting 方式
		Incremental recording 方式
CD- R CD- RW	Disc at once 方式 / Track at once 方式	
	Session at once 方式 / Packet write 方式	
記憶容量	DVD- R DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下

平均アクセスタイム*4		DVD-ROM : 130 ms	
		CD-ROM : 120 ms	
最大データ転送速度 (I/F)*4	Ultra DMAモード2		同期 33.3 MB/s
メディアとの最大 データ転送速度	DVD-ROM		最大 16620 KB/s
	DVD+R DVD+RW DVD-R DVD-RW		最大 8320 KB/s *5
	CD-ROM / CD-R		最大 4800KB/s
	CD-RW		最大 4800 KB/s
DVD-ROM 関係	フェーズ		フェーズ 2
	リージョンコード		2 (固定)
環境条件 *6	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90%
入力電圧		DC12V ± 10%	DC5V ± 5%
消費電力 (定格)		12.5 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		148.2 × 42.3 × 198 mm *7	
質量		1.0 kg *8	
設置方向		水平 / 垂直	

- *1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。
- *2 設定速度に対応したメディアをご使用ください。
- *3 High Speedタイプ(4~10倍速対応)とMulti Speedタイプ(1~4倍速対応)のCD-RWメディアは書き込み・読み込みに対応しています。Ultra SpeedタイプのCD-RWメディアは読み込みのみ対応しています。
- *4 理論値
- *5 高速記録未対応のDVD-R、DVD-RWメディアの場合は2770KB/s
- *6 ただし、結露なきこと
- *7 横置き時、突起部を除く
- *8 本体のみ

Logitec